

広島県立歴史博物館年報

第 29・30 号

平成 29 年度
平成 30 年度

広島県立歴史博物館

広島県立歴史博物館年報 第29・30号

平成29年度・平成30年度

広島県立歴史博物館

目 次

御挨拶

沿革	1
施設の概要	3
1 建築の概要	3
2 館の平面図	5
平成 29 年度事業の概要	7
1 展示	7
(1) 常設展示	7
(2) 草戸千軒テーマ展示	10
(3) ミニ展示	10
(4) 企画展示等	12
(5) 部門展示等	14
2 調査研究	17
(1) 総合研究	17
(2) テーマ研究	18
(3) 保存処理, 保存修理	18
(4) 研修・研究会等	19
3 資料の収集・保管	20
(1) 実物資料	20
(2) 製作資料	20
(3) 映像資料	20
(4) 図書資料	21
4 学習支援	22
(1) 講演会等	22
(2) 他機関主催講演会等講師	23
(3) 展示解説	24
(4) こども博物館教室	25
(5) ボランティア育成	25
(6) 学校連携	26
(7) 出版	27
(8) 新聞・雑誌への連載	28
(9) 他機関への指導	28
(10) 広島県立歴史博物館友の会	28

5	利用状況	30
(1)	入館者数	30
(2)	行事等参加者数	30
(3)	利用者数等総括表	31
(4)	資料の利用状況	32
	平成30年度事業の概要	37
1	展示	37
(1)	常設展示	37
(2)	ミニ展示	37
(3)	企画展示等	39
(4)	部門展示等	41
2	調査研究	44
(1)	総合研究	44
(2)	テーマ研究	45
(3)	保存処理, 保存修理	45
(4)	研修・研究会等	46
3	資料の収集・保管	47
(1)	実物資料	47
(2)	製作資料	47
(3)	映像資料	48
(4)	図書資料	48
4	学習支援	49
(1)	講演会等	49
(2)	他機関主催講演会等講師	50
(3)	展示解説	51
(4)	こども博物館教室	52
(5)	ボランティア育成	52
(6)	学校連携	53
(7)	出版	54
(8)	新聞・雑誌への連載	55
(9)	他機関への指導	55
(10)	広島県立歴史博物館友の会	55
5	利用状況	57
(1)	入館者数	57
(2)	行事等参加者数	57
(3)	利用者数等総括表	58

(4) 資料の利用状況	59
組織及び運営	65
1 平成 29 年度	65
(1) 職員組織図	65
(2) 事業費・運営費	65
2 平成 30 年度	66
(1) 職員組織図	66
(2) 事業費・運営費	66
関係法規	67
1 広島県立歴史博物館設置条例	67
2 広島県立歴史博物館管理運営規則	69
3 広島県教育委員会組織規則(抜粋)	74
4 広島県博物館協議会条例	76

講師等の所属・職名・氏名は、各年度当時のもの。

御 挨拶

広島県教育委員会は、昭和 43 年から約 30 年間、福山市にある草戸千軒町遺跡の継続的な発掘調査を実施し、我が国の中世史研究にとって極めて重要な成果を挙げてまいりました。

当博物館は、このような草戸千軒町遺跡出土品の保存・管理を図るとともに、草戸千軒町遺跡を中心とした瀬戸内地域の歴史・文化の調査研究を行い、その成果を公開・展示することを目的として平成元年に開館いたしました。また、江戸時代後期を代表する漢詩人であり教育者でもある菅茶山に関わる資料群「黄葉夕陽文庫」の調査研究にも力を入れてまいりました。当館では、これらの調査・研究を推進し、その成果を分かりやすく展示・公開しているところです。

この度の年報では、平成 29・30 年度の 2 か年にわたる当館の活動を報告いたします。

平成 29 年度には、企画展「土佐から来たぜよ！坂本龍馬展」、特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」を開催したほか、部門展を 2 回開催しました。

平成 30 年度には、企画展「初公開！世界を驚かせた日本人の地図づくり」・全国巡回展「発掘された日本列島 2018」のほか、部門展を 3 回開催しました。

なお、この間には、「草」の愛称で長年親しんでいた「草戸千軒 展示室」を閉室し、「近世文化展示室」としてリニューアルオープンいたしました。これにより、当館が所蔵する二つの重要文化財、すなわち「広島県草戸千軒町遺跡出土品」と「菅茶山関係資料」の常設展示を実現しました。

当館の活動は、以上の展示公開のほか、資料の保管、学習支援など多岐にわたります。この年報は、その活動の概要を記録したものです。どうか、この年報のページをめくっていただき、当館の活動を御理解いただくとともに、是非当館を利活用していただければ、幸いです。

今後とも、本県に根ざした歴史・文化の調査・研究、より魅力のある展示・公開につきまして、工夫を重ねながら実施してまいりたいと考えておりますので、引き続き、皆様の御理解・御協力・御支援をお願いいたします。

令和 2 年 3 月

広島県立歴史博物館
館長 加藤 謙

沿革

昭和	46年	2月	広島県長期総合計画で「歴史博物館」を計画する。
	48年	5月	福山市花園町に「草戸千軒町遺跡調査所」を開設する。
	49年	12月	福山市・福山市教育委員会が「県立歴史民俗資料館」の建設を陳情する。
	50年	4月	「草戸千軒町遺跡調査所」を「草戸千軒町遺跡調査研究所」と改称する。
	51年	4月	「広島県草戸千軒町遺跡調査研究所」を規則設置する。
		7月	福山市教育委員会が広島県教育委員会に「県立博物館」の建設を要望する。
	52年	3月	広島県新長期総合計画で「草戸千軒遺跡資料館」を計画する。
	55年	5月	県立博物館建設基本構想検討委員会を設置する。(～56.3)
	56年	1月	県立博物館建設基本構想検討委員会が「県立博物館建設基本構想」を答申する。
		4月	草戸千軒町遺跡調査研究所に「博物館建設準備室」を設置する。
		8月	県立博物館建設専門委員会を設置する。(～57.3)
	58年	3月	草戸千軒町遺跡調査研究所が福山市西町(博物館建設予定地)に移転する。
	60年	7月	「県立博物館建設基本構想」を決定する。
	61年	12月	教育委員会事務局内に「博物館開設推進本部」、草戸千軒町遺跡調査研究所に「博物館開設準備室」を設置する。
平成	元年	3月	博物館の建物が竣工する。
		4月	草戸千軒町遺跡調査研究所旧庁舎(西町)の解体撤去工事を行う。
		7月	広島県立歴史博物館条例を制定する。(施行 11 月)
		10月	展示工事が竣工する。
		11月	広島県立歴史博物館が開館する。それに伴い博物館開設準備室を廃止する。
	2年	1月	特別展「藤の木古墳とその時代展」開催のため正月 2 日から開館する。
		4月	広島県立歴史博物館友の会を設立する。
		6月	照明学会から草戸千軒 展示室の照明に対して「照明普及賞」を授賞する。
	3年	11月	竹原市解放会館にて「草戸千軒展」を開催する。(1～3日)
	4年	2月	電算機システムを導入設置する。
		10月	博物館前に丸型郵便ポストを設置する。 JR福山駅北口に 7 館共同掲示板を設置する。
	5年	8月	入館者が 50 万人を突破する。
	6年	4月	映像コーナーを改修する。
	8年	4月	「広島県草戸千軒町遺跡調査研究所」が廃止され、博物館の組織内に「草戸千軒町遺跡研究所」が設置される。
		7月	教育ボランティア活動を開始する。
		12月	文化財保護法公開承認施設の認定を受ける。
	9年	2月	電算機システムを更新する。
		3月	玄関上にイメージボードを設置する。
		4月	小学生向け「はくぶつかんたんけんノート」の配付を開始する。
		8月	解説ボランティア活動を開始する。
	10年	8月	古文書学習会を開講する。
		11月	入館者が 100 万人を突破する。
	11年	6月	インターネットにウェブページを開設する。
		11月	開館 10 周年を迎える。
	12年	4月	通史展示室内に特設展示コーナーを開設する。
		6月	「考古学入門教室」「体験的歴史講座(教員対象)」を開講する。
		8月	図書ボランティア活動を開始する。
	13年	5月	古文書資料整理ボランティア活動を開始する。
		8月	備後絣資料整理ボランティア活動を開始する。
	14年	2月	電算機システムを更新する。
		4月	高校生以下の通常の展示の入館料を無料とする。 高校生向け「博物館探検ノート」の配布を開始する。 常設展示室の音声ガイドの提供を開始する。 特設展示コーナー(現スポット展示コーナー)で、広島県文化財保護条例施行 50 周年記念「広島県指定文化財の公開」を開催する。(～15年 3 月)
		6月	「けんぱく邦楽演奏会」を開始する。 考古資料整理ボランティア活動を開始する。

沿革

- 15年 5月 体験用資料を設置する。(「博物館でむかしを体験してみよう!」)
7月 ワークショップにボランティアを導入する。
- 16年 4月 小学生向け「はくぶつかんたんけんノート(通史展示室編)」の配付を開始する。
企画展示の解説ボランティア活動を開始する。
6月 「広島県草戸千軒町遺跡出土品」2,930点が国の重要文化財に指定される。
11月 開館15周年を迎える。
- 17年 4月 「ふくやま文化ゾーン」共通入館割引券の利用を開始する。
5月 講演会・博物館講座を「博物館大学」という行事として行う。
- 18年 2月 エントランス展示を開始する。
11月 「博物館大学」を1年間同一テーマの連続講座に改める。
12月 通史展示室で「かぞくでクイズ」1～5の配架を開始する。
- 19年 3月 通史展示室「近現代コーナー」に鉄道模型を新設する。
4月 「こども博物館教室」を“あそびの教室”と“まなびの教室”に分け、充実を図る。
通史展示室「中世コーナー」に「花押クイズツール」を設置する。
7月 草戸千軒 展示室のテーマ展示を「木簡と墨書土器」にリニューアルする。
- 20年 8月 開館以来の総入館者が150万人となり、記念セレモニーを実施する。
- 21年 6月 比治山大学・広島県立歴史民俗資料館との共催で、公開講座を開催する(以後、平成29年度まで継続開催)。
8月 児童・生徒が夏休みを利用して博物館に親しむ機会を提供するため「一日まるごと こども博物館の日」を開催する(以後、平成26年度まで継続実施)。
11月 開館20周年を迎える。
- 22年 2月 福山市中央部循環バス路線「まわローズ」の「一日乗車券」利用者に対する入館料減免措置(団体料金適用)を実施する。
12月 エントランス展示を実施するとともに、図書情報コーナーを設置する。
- 24年 1月 「お正月だよ!こども博物館」を開催する(以後、継続事業として毎年実施)。
7月 草戸千軒 展示室内に中世衣装(「壺装束」・「大鎧」)の着用体験コーナーを設置する。
11月 草戸千軒 展示室内に草戸千軒町遺跡発掘体験キット、土器パズルを設置する。
- 25年 11月 キャンパスメンバーズ制度を導入する。
- 26年 1月 愛称「ふくやま草戸千軒ミュージアム」、マスコットキャラクター「くさどっきー」「せんちゃん」を公募によって決定する。
8月 「菅茶山関係資料」5,369点が国の重要文化財に指定される。
11月 開館25周年を迎える。
- 27年 4月 頼山陽史跡資料館(広島市)が当館の分館として、公益財団法人の運営から県直営となる。
- 28年 4月 草戸千軒 展示室のテーマ展示を「回転糸切り底の土師質土器杯・皿類に見る地域交流」にリニューアルする。
10月 開館以来の総入館者が200万人となり、記念セレモニーを実施する。
-
- 29年 4月 小学生向け新「たんけんノート」の配付を開始する。
10月 草戸千軒 展示室を閉室し、改修する。
- 30年 3月 広島県立福山工業高等学校(計算技術研究部)から、「VR遣明船」を贈呈される。
6月 「VR遣明船」の乗船体験を開始する。
10月 草戸千軒 展示室が近世文化展示室としてリニューアルオープンする。以後、草戸千軒 展示室を草戸千軒展示室と改称する。

施設の概要

1 建築の概要

(1) 施工工事

ア 設計

建築・外構 (株)佐藤総合計画
 展示 (株)トータルメディア開発研究所

イ 工事監理

広島県土木建築部都市局営繕課・(株)佐藤総合計画・(株)トータルメディア開発研究所

ウ 施工

建築工事 (株)熊谷組・(株)青木建設・(株)鈴木工務店共同企業体
 強電設備工事 九州電気工事(株)
 弱電設備工事 中国電気工事(株)
 自家発電設備工事 三菱電機(株)
 昇降機設備工事 (株)日立製作所
 空調設備工事 日立プラント建設(株)
 衛生設備工事 丸紅設備(株)
 展示 (株)トータルメディア開発研究所・(株)乃村工藝社・北辰映電(株)

エ 工期

建築・外構 (着工) 昭和 62 年 7 月 7 日～(完成) 平成 元年 3 月 20 日
 展示 (着工) 昭和 63 年 7 月 5 日～(完成) 平成 元年 10 月 20 日

(2) 建築物の概要

ア 敷地面積 : 5,481.83 m²
 イ 建築面積 : 3,265.68 m²
 ウ 延床面積 : 8,940.63 m²
 エ 規模 : 地下1階 地上2階
 オ 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造

(3) 仕上の概要

ア 外 壁 (厚)30 砂岩貼り・サンドブラスト仕上げ
 イ 屋 根 アスファルト防水(厚)60 足付 PC板
 ウ 外 部 建 具 アルミサッシュ(電解着色)
 エ エントランスホール 床 花崗岩貼ジェットパーナー仕上げ ポリウレタン塗装
 オ ト ッ プ ラ イ ト 複層ガラス (厚)8 熱線反射ガラス + (厚)6.8 網入りガラス
 カ 講 堂 床 タフテッドカーペット
 壁 (厚)30 砂岩(割肌)・ガラス繊維壁紙 E P - A
 天井 (厚)2.0 アルミパンチングプレート, メラミン樹脂焼付塗装

施設の概要

キ 特別・民俗資料収蔵庫	床 (厚)15 ブナフローリング緑甲板 壁 (厚)12 杉小巾板 天井 (厚)12 杉小巾板
ク 土器収蔵庫	床 (厚)2.0 ビニールシート 壁 モルタル塗り 天井 (厚)15 岩綿吸音板
ケ 文書収蔵庫	床 (厚)15 ブナフローリング緑甲板 壁 ギャラリーボード 天井 ギャラリーボード
コ 木器収蔵庫	床 (厚)2.0 ビニールシート 壁 モルタル下地 E P - A 天井 (厚)9 プラスターボード
サ 企画展示室	床 タイルカーペット 壁 クロス貼 天井 メッシュ天井
シ 2階ロビー	床 ウィルトンカーペット 壁 (厚)30 砂岩貼 天井 (厚)19 岩綿吸音板
ス 通史展示室	床 タイルカーペット 壁 ガラス繊維壁紙 E P - A 天井 メッシュ天井
セ 草戸千軒 展示室	床 タイルカーペット 壁 ガラス繊維壁紙 E P - A 天井 (厚)19 岩綿吸音板・(厚)8 F Gボードパテ仕上げ
ソ 草戸千軒 展示室	床 タイルカーペット 壁 ガラス繊維壁紙 E P - A 天井 メッシュ天井

(4) 設備の概要

ア 電気設備

(ア) 受 変 電 : 1,350 K V A

(イ) 非 常 用 電 源 : 発電機関 ガスタービン発電装置 容量 6,600V 265 K V A

(ウ) 火災報知その他 : 電話設備, インターホン設備, T V 共同視聴設備, 自動火災報知設備, 防火扉等制御設備, ガス漏警報設備, 非常用放送設備, I T V 監視設備, 防犯警報設備, 講堂視聴覚室等の視聴覚設備

イ 空気調和設備 空調機 + 単一ダクト一部ファンコイル式
ガス焚冷温水発生器 130.180 U S R

施設の概要

ウ 給排水衛生設備

- (ア) 市水道
- (イ) 受水槽
- (ウ) 屋内消火施設：スプリンクラーとハロン消火施設の併用
- (エ) 屋外消火施設：屋外消火栓
- (オ) 消火器設備

エ 昇降機設備

- 油圧式エレベーター(3 t) 1基
- 油圧式リフト(2 t) 1基

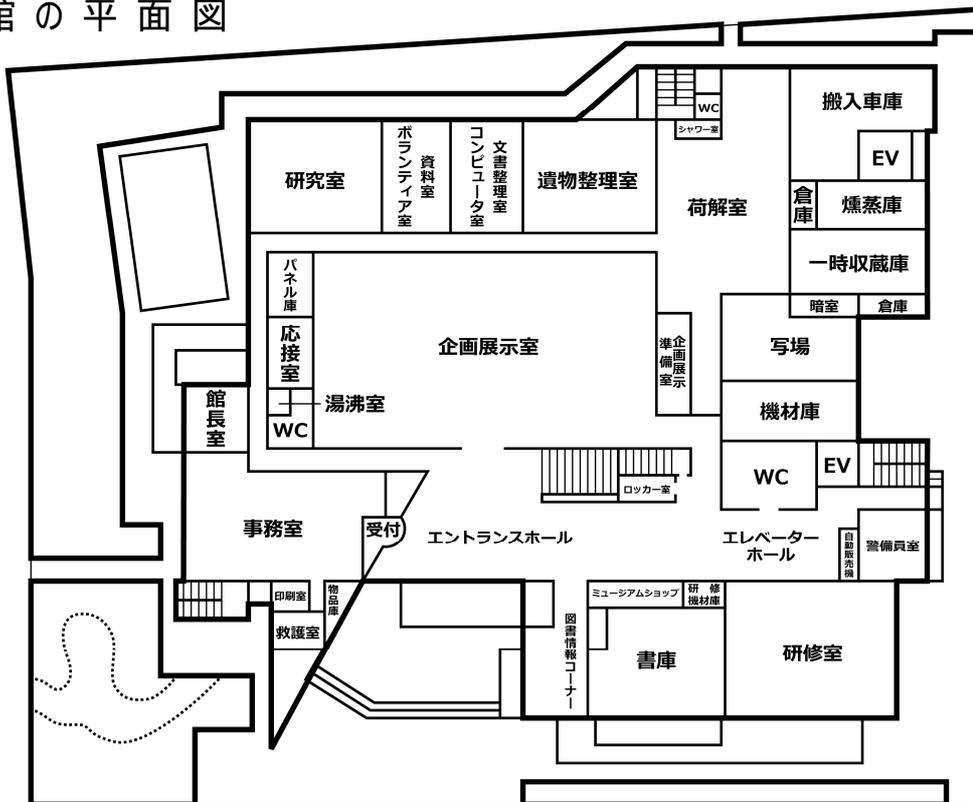
オ 監視機構

中央監視室において、電気・空調・給排水等の遠隔操作や、故障・計測の監視を行う。また、警備員室及び事務室において、火災報知・ガス漏れ・非常放送・ITV監視等を行う。

(5) 近世文化展示室(草戸千軒 展示室リニューアル)

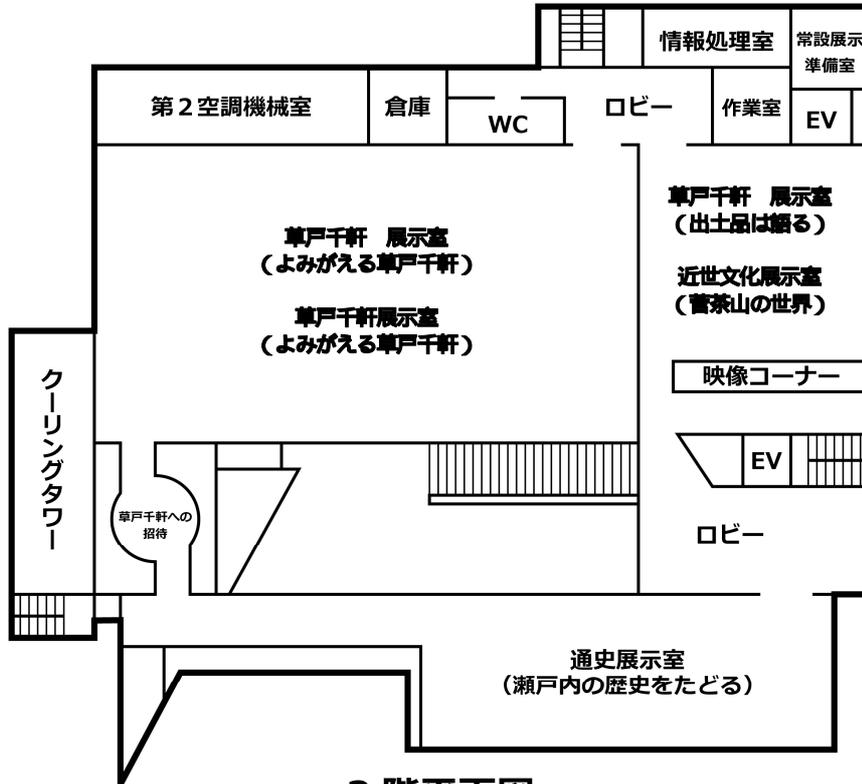
- ア 設計 株式会社乃村工藝社
- イ 工事監理 広島県土木建築局営繕課
- ウ 施工 平和建設株式会社
- エ 工期 平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 3 月 23 日
- オ 仕上げの概要
 - 床 タイルカーペット
 - 壁 ビニールクロス貼り

2 館の平面図

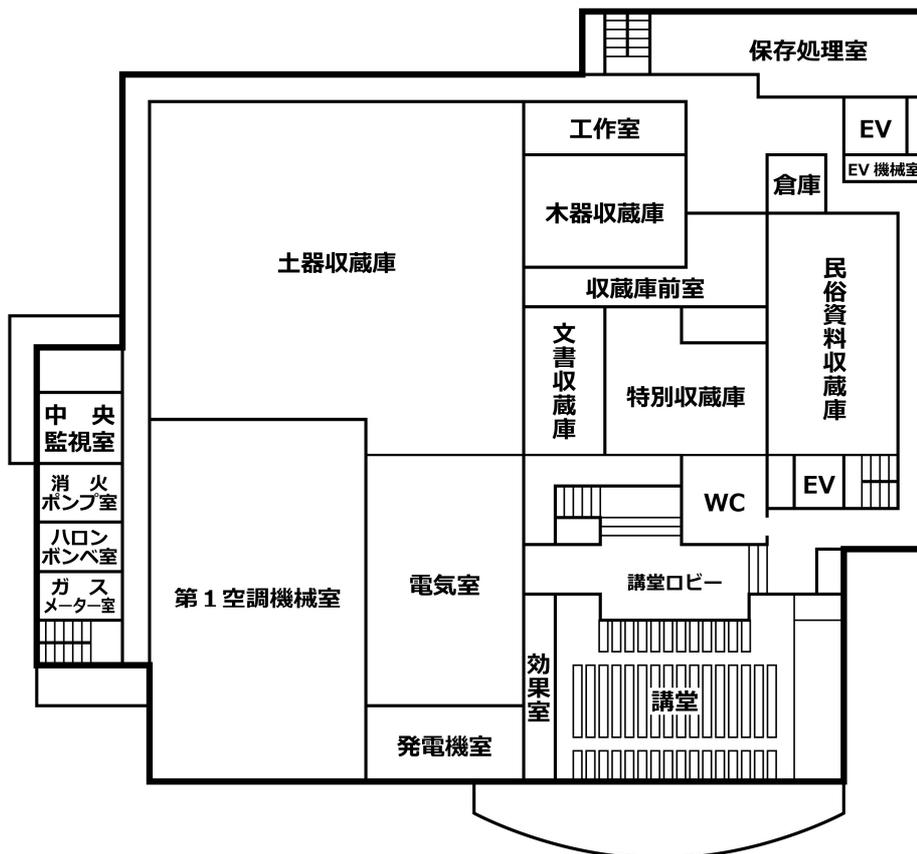


1 階平面図

施設の概要



2階平面図



地階平面図

平成 29 年度事業の概要

1 展 示

(1) 常設展示

常設展示は、川底に埋もれた中世の町「草戸千軒町遺跡」を中心に広く瀬戸内の歴史と文化に視点を当てて構成し、その主題を瀬戸内の民衆生活としており、次の3室からなる。

なお、草戸千軒 展示室は、11月26日(日)をもって観覧を休止し、リニューアル工事を行った。

ア 通史展示室「瀬戸内の歴史をたどる」

草戸千軒を歴史的に位置付けるため、瀬戸内の「民衆生活」と「交通・交易」をテーマに、原始から現代までの歴史の流れをたどる。

イ 草戸千軒 展示室「よみがえる草戸千軒」

当時の人々の生活文化を理解するため、草戸千軒の一角を実物大で復原して中世の様子を再現するとともに、その周囲に出土品を並べる。

ウ 草戸千軒 展示室「出土品はかたる」

30数年にわたる草戸千軒の発掘調査によって出土した遺物や関連資料を系統的に並べ、併せて全国の主要な中世遺跡についても紹介する。

展示項目一覧

通史展示室 - 瀬戸内の歴史をたどる -

() は複製・模写)

	大 項 目	中・小項目	主な展示資料
A	瀬戸内海の誕生		ナウマンゾウ牙化石()
B	原始の民衆生活と交通・交易	採猟・採集の生活 (1) 最古の狩人 (2) 縄文人のくらし (3) 石器・石材の流通 農耕生活のはじまり (4) 稲作と祭祀	旧石器類(冠遺跡) 縄文土器(帝釈峡遺跡群)() 安山岩原石(洗谷貝塚) 弥生土器(御領遺跡)()
C	古代の民衆生活と交通・交易	農耕の発達と古墳祭祀 (1) 鉄器の普及とムラの生活 (2) 古墳の築造と祭祀 民衆生活と仏教文化 瀬戸内の交通 (1) 石棺の運搬 (2) 須恵器の流通 (3) 海上交通と山陽道	鋸(稻荷山D-2号古墳)() 御年代古墳石室模型 寺町廃寺伽藍模型 家形石棺(二本松古墳)() 器台(三ツ城古墳)() 双鸞狻猊鏡(大飛島遺跡)()
D	中世の民衆生活と交通・交易	荘園と惣 都市と職人	賢阿讓状() 銅鐘()

平成 29 年度事業の概要

		民間信仰の展開 水運の発達と対外貿易 (1) 瀬戸内海の水運と商品流通 (2) 対外交易	善光寺如来造立勸進帳 () 中世瀬戸内の商品流通模型 遣明船模型
E	近世の民衆生活と交通・交易	芸備の城下町 瀬戸内の村 安芸門徒と社寺参詣 瀬戸内海廻船と山陽道 (1) 瀬戸内海の廻船 (2) 山陽道の宿場町	台座付天秤 一斗枡 (京枡) 黄旗 () 竹原塩売買仕切状 () 神辺宿模型
F	近現代の民衆生活と交通・交易	(1) 明治維新と民衆 (2) 瀬戸内の交通と産業 (3) 大正デモクラシーと戦時体制 (4) 瀬戸内の復興と変貌	地租改正測量絵馬 () 山陽鉄道神戸・尾道間時刻表 松永塩田釜屋模型 駄菓子屋に並んだおもちゃとおかしのパッケージ 食糧購入切符
G	歴史の壁		
H	博物館でむかしを体験してみよう!	銅鐸を鳴らしてみよう むかしの鏡に顔を映してみよう	銅鐸 () 銅鏡 ()

草戸千軒 展示室 - よみがえる草戸千軒 -

(は複製・模写)

大項目		中・小項目	主な展示資料
I	草戸千軒への招待		備南地域地形模型
J	草戸千軒の再現	草戸千軒実物大復原 草戸千軒町並模型 行き交う人々	
K	草戸千軒の人々の暮らし	貯える 炊く 食べる 灯す 暖める 書く 装う 履く	大甕 (備前・常滑・亀山)・曲物・柄杓 土鍋・かまど・土釜・茶臼・包丁 瀬戸灰釉水注・土師質土器椀・青磁碗 火打鎌・火きり棒・火きり板・灯明皿 火箸・火鉢
L	草戸千軒の人々の暮らし	耕す 漁る 商う 作る (1) 番匠	石硯・木簡・青磁水滴・墨書土器 銅鏡・扇・櫛・お歯黒皿・青磁紅皿 下駄・藁草履・板金剛 (草履) 鎌・鍬・豎杵・砧・轆 土錘・釣針・浮き 木簡・貨幣・白磁碗・青磁皿 木の葉鋸・鑿・手斧

平成 29 年度事業の概要

		(2) 鍛冶 (3) 塗師 (4) 足駄づくり (5) かわらけづくり (6) さまざまな細工 祈る (1) 信仰 (2) まじない 遊ぶ	鉾滓・砥石・ふいごの羽口 刷毛・漆容器 下駄・下駄未製品 土師質土器(かわらけ) 錘・糸巻き・つちのこ(編具)・曲物 磬・墨書土器・懸仏 人形・刀形・陽物・墨書土器 羽子板・独楽・さいころ
M	博物館でむかしを体験してみよう！	むかしのお金を持ち上げてみよう むかしの衣装を着てみよう	古銭さし銭(100枚・300枚・500枚・1000枚：一貫文) 壺装束・小袖・筒袖・括袴・大鎧

草戸千軒 展示室 - 出土品はかたる - (展示公開は11月26日まで実施した。)(は複製・模写)

	大項目	中・小項目	主な展示資料
N	調査研究のあゆみ		
O	テーマ展示		
P	食物		種子・獣骨・貝殻
Q	やきもの	古代の土器 中世の土器 各地のやきもの 近世の陶磁器 中国の陶磁器 朝鮮の陶磁器	須恵器杯・緑釉陶器香炉 土師質土器椀・杯・皿 常滑壺・備前甕・亀山甕 伊万里染付碗・唐津皿 青磁瓶・白磁水注 象嵌青磁碗・青磁鉢
R	井戸	生活と井戸 形態と構造	
S	遺構の変遷		
T	草戸千軒の歴史的 성격		西大寺諸国末寺帳()
U	よみがえる中世	京都 鎌倉 一乗谷朝倉氏遺跡 博多 尾道 下右田遺跡 瀬戸古窯跡群 根来寺坊院跡	青磁碗・青磁盤 渥美壺・滑石製スタンプ 罏()・鉄鍬() 墨書陶磁器・褐釉瓶 軒丸瓦・青磁碗 土鍋・土師質土器椀 鉄釉合子・鉄釉花瓶 根来塗皿()・金銅製賢瓶()
	博物館でむかしを体験してみよう！	割れた土器を復原してみよう 発掘調査をしてみよう	土器パズル() 発掘体験キット()

(2) 草戸千軒テーマ展示

草戸千軒 展示室の一部を使って、草戸千軒町遺跡に関する常設展示以外の様々な資料をテーマに従って紹介するものである。

「回転糸切り底の土師質土器杯・皿類に見る地域交流」

期 間： 4月1日(土)～平成29年11月26日(日)

趣 旨： 草戸千軒町遺跡の遺構出土の土師質土器のうち、回転糸切り離し技法の杯・皿類を紹介し、その一部の供給元と考えられる府中市域の土器(府中市坊迫C遺跡出土土器)と比較し、杯・皿類から周辺地域との交流を考える。

展示内容： 「杯・皿類の底を観察する」、「土師質土器杯・皿類の地域性」

担 当： 尾崎光伸

(3) ミニ展示

当館の通史展示室にミニ展示スペースを設け、広島県の歴史を深く掘り下げた展示を、約2か月の会期で行う。

第1回 「古墳時代を彩る玉」

期 間： 3月24日(金)～5月25日(木)

趣 旨： 広島県内の古墳から出土した勾玉・管玉・小玉等について、色や石材を通して古墳時代前期・中期・後期の様相を紹介するとともに、その歴史的な背景に触れた展示を行うことで、広島県の古墳文化を紹介する。

展示資料： 古墳時代前期

石鎚山第1号古墳出土玉(勾玉・管玉・小玉)【福山市】

尾ノ上古墳(勾玉・管玉・小玉)【福山市】

才が迫第1号古墳出土玉(勾玉・管玉・小玉)【東広島市】

古墳時代中期

亀山第1号古墳(勾玉・管玉・小玉)【福山市】

恵下第1号古墳(勾玉・管玉・小玉)【広島市】

吹越第3号古墳(勾玉・管玉・小玉)【福山市】

古墳時代後期

梶平塚第2号古墳(勾玉・管玉・切子玉・棗玉・小玉)【庄原市】

金田第2号古墳(勾玉・管玉・切子玉・棗玉・小玉)【庄原市】

法恩寺南古墳(勾玉・管玉・切子玉・小玉)【安芸高田市】

担 当： 尾崎光伸

第2回 「福塩線の始まり - 最近の収蔵資料から - 」

期 間： 5月26日(金)～7月27日(木)

趣 旨： 福山と塩町(三次市)を結ぶJR福塩線の歴史は、大正3年(1914)に福山-府中間に開業した両備軽便鉄道に始まる。今回のミニ展示では、両備軽便鉄道が開業する際に製作された路線図などを紹介し、開業頃の様子を紹介する。

展示資料： 備後鉄道路線平面図 1点,備後電気鉄道株式会社起業目論見書 1点,土地売買契約書 1点,時刻表 3点

担 当： 山本智宏

第3回 「中世の身だしなみ 草戸千軒の笄」

期 間： 7月28日(金)～9月21日(木)

趣 旨： 簪と並び、江戸時代の女性用の髪飾りとして知られる笄は、中世には、髪をまとめたり頭のかゆい部分をかいたりするために使われる実用的な道具であり、男女ともに日常的に使用していたと考えられている。中世の港町「草戸千軒町遺跡」からも多くの笄が出土しており、民衆にも広く普及していたことが分かる。

本展示では、草戸千軒町遺跡から出土した笄を展示し、その特徴や形の変化などについて紹介する。

展示資料： 草戸千軒町遺跡出土の骨角製笄、銅製笄等

担 当： 中山愉希江

第4回 「頼山陽の手紙を読む」

期 間： 9月22日(金)～11月23日(木・祝)

趣 旨： 頼山陽(1780～1832)は、文化6年末～文化8年初めまで、神辺の菅茶山が開いた廉塾の塾頭であった。茶山は山陽を廉塾の後継者にと望んだものの、山陽は承諾せず、廉塾を後にして京都へと向かった。山陽が、京都へ居を構えてまもなく菅茶山に出したと推定される書状を読み解き、山陽と菅茶山の、単純にはとらえられない関係を紹介する。

展示資料： 頼山陽書状(重要文化財菅茶山関係資料〔書状類707〕)、 頼山陽肖像画(複製)

担 当： 岡野将士

第5回 「音を記録する - レコードの歴史と魅力 -」

期 間： 11月24日(金)～平成30年1月25日(木)

趣 旨： 今年1877年12月6日にエジソンが蓄音機による録音・再生に成功して140年に当たる。人類史上初めて登場した音を記録し、再現できる装置は、近代市民社会に大きな影響を与えた。円筒形の蝋管を記録媒体に用いた「エジソン型」の後に登場した円盤の板を記録媒体とする「ベルリナー型」は、音楽の普及に貢献し、家庭にレコード盤が普及する。戦後になると蓄音機は電気で動くレコード・プレーヤーが普及、高度経済成長期を経てお茶の間に音楽が広まる。1980年代にCDが登場すると更に広い世代に音楽が普及し、今世紀になると特定の媒体を持たない手軽なデジタル音楽が主流になり、今や音楽は電話機とともに「持ち歩くもの」となった。

一方、デジタル音楽主流の昨今、アナログレコードの持つ質感や温かな響きなどが再評価され、蓄音機やアナログレコードに再び注目が集まっている。

本展示では、140年前にエジソンが蓄音機での録音・再生に成功した12月6日(「音の日」)に合わせ、「エジソン型」・「ベルリナー型」の初期の蓄音機や蝋管・レコードを展示し「音を記録することについて紹介するコーナー」と、レコードの歴史をたどりながらその魅力に迫るコーナーによって構成する。

展示資料： エジソン型蓄音機(アメリカ製,1900年) 個人蔵, 斉藤芳克コレクション

蝋管 個人蔵, 斉藤芳克コレクション

ベルリナー型蓄音機(日本製,大正時代) 個人蔵, 斉藤芳克コレクション

ポータブル型蓄音機(日本製,昭和10年代)個人蔵, 斉藤芳克コレクション

平成 29 年度事業の概要

S Pレコード（昭和，戦前） 個人蔵，斉藤芳克コレクション
L Pレコード（昭和，戦後） 個人蔵
E Pレコード（昭和，戦後） 個人蔵
ピクチャーレコード（昭和，戦後） 個人蔵
変形レコード（昭和，戦後） 個人蔵
高音質タイプLPレコード（昭和，戦後） 個人蔵
12inch シングルレコード（昭和，戦後） 個人蔵
『FMファン』（1987年，CD・レコード比較特集号） 広島県立図書館蔵
携帯音楽プレーヤー 個人蔵
携帯ボイスレコーダー 当館蔵

担 当： 久下 実

第6回 「草戸千軒町遺跡の木簡 商いや遊びに使われた木札」

期 間： 平成 30 年 1 月 26 日（金）～ 3 月 22 日（木）

趣 旨： 紙が貴重であった中世以前には，紙の代わりにしばしば木の札（木簡）が使用された。当館常設展の主要テーマを構成する草戸千軒町遺跡から出土した約 4 千点もの木簡は，中世木簡の典型例として広く知られている。本展では，これらの木簡の記載内容からうかがえる，文献史料には記載の少ない草戸千軒についての様子や，中世の在地における経済・文化などの実態の一端を紹介する。

展示資料： 草戸千軒町遺跡出土木簡レプリカ（聞香札・闘茶札ほか）

担 当： 石橋健太郎

(4) 企画展示等

ア 企画展 「土佐から来たぜよ!坂本龍馬展」

期 間： 7 月 14 日（金）～ 9 月 10 日（日）

趣 旨： 平成 29 年度は，坂本龍馬が暗殺されて 150 年に当たる。

坂本龍馬は幕末の志士で，その劇的な生涯と破天荒な活躍により最も有名な歴史上の人物の一人でもある。また，「いろは丸沈没事件」で，本県の鞆の浦にもゆかりがある。坂本龍馬の宿所となった枳屋，紀州藩との交渉場所であった魚屋，対潮楼などは多くの観光客の関心を集めているところでもある。

このような県内外の坂本龍馬人気と暗殺 150 年を契機に予想される関心の高まりを捉え，当館で坂本龍馬の生涯と人柄に係る資料を公開することにより，我が国及び本県の歴史と文化に対する理解と認識を深めることを目的とした展示を企画する。

なお，この展示は，高知県立坂本龍馬記念館（平成 29 年 4 月休館）所蔵の資料を基に，当館，東京，岡山，熊本でも開催する。

主 催： 広島県立歴史博物館

共 催： 高知県立坂本龍馬記念館，中国新聞備後本社

後 援： 福山市，福山市教育委員会，福山商工会議所，広島経済同友会福山支部，一般社団法人福山青年会議所，一般社団法人広島県観光連盟，エフエムふくやま

料 金： 一般700円（560円），高・大学生520円（410円），小・中学生350円（280円）

（ ）は前売りで 20 名以上の団体及び協力館（福山市鞆の浦歴史民俗資料館及びいろは丸展示

館)見学者

入館者数： 11,485 人

- 行事：・ 開催記念講演会 (博物館大学第 3 回)
- 開催日：7 月 15 日(土)
- 演 題：坂本龍馬の生涯とひろしま
- 講 師：前田 由紀枝(高知県立坂本龍馬記念館学芸課長)
- 参加者数：342 人
- ・ 開催記念講演会 (博物館大学第 4 回)
- 開催日：8 月 19 日(土)
- 演 題：坂本龍馬と薩長同盟
- 講 師：三宅 紹宣(広島大学名誉教授)
- 参加者数：256 人
- ・ 開催記念古文書講座
- 開催日：8 月 5 日(土)
- 演 題：坂本龍馬の手紙を読む
- 講 師：岡野 将士
- 参加者数：146 人
- ・ 月琴と朗読による 朗読演奏会 月琴で綴る龍馬の手紙
- 開催日：8 月 6 日(日)
- 演 奏：永田 育子(月琴奏者)
- 朗 読：藤井 翔也(福山誠之館高校 B)
- 村上 裕実(福山誠之館高校 2 年生)
- 藤井 佑紀(福山誠之館高校 2 年生)
- 藤井 悠太(福山誠之館高校 3 年生)
- 細羽 優里(福山明王台高校 2 年生)
- 大下 七海(尾道北高校 2 年生)
- 参加者数：184 人
- ・ 展示解説会
- 第 267 回 7 月 22 日(土) 解説者：前田 由紀枝
- 第 268 回 8 月 11 日(金・祝) 解説者：前田 由紀枝
- 第 269 回 8 月 26 日(土) 解説者：前田 由紀枝
- 参加者数：248 人
- ・ 開催記念茶会
- 開催日：8 月 5 日(土), 6 日(日)
- 協 力：裏千家淡交会福山支部
- 参加者数：387 人
- ・ 開催記念茶会
- 開催日：8 月 19 日(土), 20 日(日)
- 協 力：上田宗箇流福山支部
- 参加者数：191 人

- ・ 開催記念茶会
開催日：9月2日(土), 3日(日)
協 力：表千家同門会備後支部
参加者数：445人

担 当： 岡野 将士

イ 特別展 「エヴァンゲリオンと日本刀展」

期 間： 9月30日(土)～12月3日(日)

趣 旨： 我が国を代表するアニメの一つ「エヴァンゲリオン新劇場版」のキャラクターたちをとおして、我が国伝統工芸を代表する「日本刀」の魅力を紹介し、我が国の文化に対する県民の理解と認識を深める。

主 催： エヴァンゲリオンと日本刀展福山展実行委員会(広島県立歴史博物館,株式会社テレビせとうち,株式会社中国放送),一般社団法人全日本刀匠会事業部

後 援： 福山市,福山市教育委員会,福山商工会議所,広島経済同友会福山支部,一般社団法人福山青年会議所,福山ロータリークラブ,福山ライオンズクラブ,国際ソロプチミスト福山,一般社団法人広島県観光連盟,中国新聞備後本社,エフエムふくやま

企画協力： グラウンドワークス

特別協力： 広島県美術刀剣保存協会,広島県刀職会

協 力： 電撃ホビーマガジン,テレビせとうちクリエイト,西日本旅客鉄道株式会社岡山支社

料 金： 一般800円(700円),高・大学生600円(500円),小・中学生400円(300円)

()内は前売特別入館券と20名以上の団体

関連展示： ふるさとの刀匠「法華一乗」

入館者数： 14,412人

行 事： ・ 開催記念講演会 (公開講座〔比治山大学・みよし風土記の丘ミュージアム共催〕)

開催日：10月28日(土)

演 題：新世紀エヴァンゲリオンを生んだ日本アニメーション

講 師：宮崎 しずか(比治山大学短期大学部講師)

参加者数：45人

- ・ 開催記念講演会 (博物館大学第5回)

開催日：11月11日(土)

演 題：ふるさとの刀匠・法華一乗

講 師：山本 智宏

参加者数：131人

担 当： 石橋 健太郎

(5) 部門展示等

常設展示の内容をより一層深め,様々な歴史情報を公開するためのものであり,考古・歴史・民俗の各部門が,合同又は各々独立して行う展示である。

ア 春の展示「卑弥呼の時代の備後南部」

期 間： 4月28日(金)～6月4日(日)

趣 旨： 卑弥呼が生きた時代は、古墳時代直前の弥生時代後期の終わり頃に当たる。稲作が定着・発展する中で多くのムラができ、弥生時代後期にはムラがまとまりクニが生まれ、王が出現する。後期の終わり頃には、各地のクニがまとまり更に大きな連合が形成され、古墳時代に向かう。

このような時期、備後南部はどのような社会であったのか。今回の展示では、弥生時代後期を「卑弥呼の時代」とし、備後南部の土器・墳墓・集落などの展示をとおして古墳時代を迎えるまでの社会の様子を紹介する。

主 催： 広島県立歴史博物館

後 援： エフエムふくやま

行 事： ・ 開催記念講演会（博物館大学第 1 回）

開 催 日： 4 月 29 日（土・祝）

演 題： 弥生時代後期の吉備

講 師： 宇垣 匡雅（岡山県古代吉備文化財センター所長）

参加者数： 191 人

・ 開催記念講演会（博物館大学第 2 回）

開 催 日： 5 月 20 日（土）

演 題： 卑弥呼の時代の備後南部

講 師： 中山愉希江

参加者数： 203 人

・ 開催記念文化講演会（広島県立歴史博物館友の会共催）

開 催 日： 6 月 3 日（土）

演 題： 卑弥呼の共立と倭国の新生

講 師： 寺沢 薫（桜井市纏向学研究センター所長）

参加者数： 240 人

・ 展示解説会

第 265 回 5 月 5 日（金・祝） 解説者： 中山愉希江

第 266 回 5 月 27 日（日） 解説者： 中山愉希江

参加者数： 32 人

担 当： 中山 愉希江

イ 早春の展示「姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器痕跡」

期 間： 1 月 19 日（金）～ 3 月 11 日（日）

趣 旨： 姫谷焼は、江戸時代前期の 17 世紀中葉頃に、現在の福山市加茂町百谷で焼かれた色絵磁器である。

また、江戸時代後期の 19 世紀になると、全国に流通していた伊万里焼などのような陶磁器を福山藩内でも生産するようになり、府中市の洞仙焼、福山市の岩谷焼・木之庄焼・鞆皿山焼などが知られている。

こうした近世の陶磁器生産の様相について紹介し、当県の文化に関する県民の理解と認識を深める展示とする。

主 催： 広島県立歴史博物館

後 援： 福山市教育委員会，府中市教育委員会，福山ロータリークラブ，エフエムふくやま，エフエムおのみち

平成 29 年度事業の概要

- 行事：・ 開催記念講演会（考古学講座第 1 回）
開催日：1 月 27 日（土）
演題：日本の色絵磁器の創始と発展 - 江戸時代，有田の色絵技術とその伝播 -
講師：大橋 康二（佐賀県立九州陶磁文化館 名誉顧問）
参加者数：120 人
- ・ 開催記念講演会（考古学講座第 2 回）
開催日：2 月 17 日（土）
演題：姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡
講師：尾崎 光伸
参加者数：144 人
- ・ 開催記念文化講演会（考古学講座第 3 回）
開催日：3 月 3 日（土）
演題：広島県内の近世遺跡における陶磁器の動向
講師：石垣敏之（東広島市教育委員会文化課 主査）
参加者数：106 人
- ・ 展示解説会
第 270 回 2 月 3 日（土） 解説者：尾崎 光伸
第 271 回 2 月 24 日（土） 解説者：尾崎 光伸
臨時 3 月 10 日（土） 解説者：尾崎 光伸
参加者数：72 人
- 担当：尾崎 光伸

2 調査研究

博物館では、草戸千軒町遺跡を中心とした瀬戸内地域及び広島県の歴史と文化に関する調査研究を進め、資料を系統的に収集・整理・活用し、教育・文化及び学術の振興を図っている。

(1) 総合研究

一つのテーマについて、考古・歴史・民俗・美術工芸の各分野が連携して、総合的な研究を行うものである。

ア 黄葉夕陽文庫資料の基礎調査と研究

趣 旨： 当館が所蔵する「黄葉夕陽文庫資料」について、カード作成などの資料整理事業を実施するとともに、重要文化財「菅茶山関係資料」と合わせて、より多角的に調査・研究を進め、その成果を展示その他の事業によって博物館利用者に分かりやすく提供できるよう整理し、資料目録の刊行など早期の全容公開を図る。

内 容： ・ 黄葉夕陽文庫資料整理事業運営協議会を開催し、資料整理や活用等の方針について協議した。

実施日：平成 30 年 3 月 7 日（水）

指導者：頼 祺一（広島大学名誉教授）・岡部幹彦（元文化庁主任文化財調査官）

- ・ 基本目録の作成に向けた整理・調査を実施するとともに、重要文化財「菅茶山関係資料」を指定番号順に整理した。未指定の「黄葉夕陽文庫資料」について、指定品との関連付けを実施中。
- ・ 廉塾の土蔵に残されていた書画類・器物類を預かり、整理作業を進めた。

イ 総合調査「芦田川下流域の中世」

趣 旨： 草戸千軒町遺跡の調査研究成果を、芦田川下流域を中心とする福山湾岸全体の中世史に位置付けるため、関連する資料の分析を進める。

内 容： 草戸千軒町遺跡の調査研究成果を瀬戸内海地域の歴史に位置付けるために設置している通史展示室の、中世コーナーの史料についての解説を 3 年計画で見直すこととした。第 1 年目は、延文 5 年（1360）賢阿譲り状、応長 2 年（1312）四郎太郎友氏・嫡子孫六連署売券案、天正 9 年（1581）能島村上武吉過所旗及び貞和 4 年（1348）明王院五重塔伏鉢銘文を対象とし、翻刻文、現代語訳及び解説文を付した。

ウ 草戸千軒町遺跡に関する調査研究

趣 旨： 当館が保管する草戸千軒町遺跡出土資料は、長期間に及ぶ中世の生活の様子を具体的にうかがうことができることから、我が国の歴史研究にとって極めて価値が高い。しかし、発掘調査報告に掲載されているものは僅少であることから、引き続き、その他の数十万点に及ぶ膨大な資料の分析・研究を進め、その成果を中世史研究に役立てるとともに、博物館において展示などの学習支援活動で公開・活用する。

内 容： ・ 平成 8 年度から資料の種別ごとに調査研究報告を刊行している。平成 29 年度は、『草戸千軒町遺跡調査研究報告 13 草戸千軒町遺跡出土の土師質土器 1 期の椀・杯・皿類』を刊行した。

- ・ 草戸千軒町遺跡出土遺物整理指導委員会を設置し、資料整理や活用等の方針について協議した。

開催日：平成 30 年 3 月 2 日（金）

委 員：松下 正司（比治山大学名誉教授）、本多 博之（広島大学大学院教授）、鈴木 康之（県立広島大学准教授）

(2) テーマ研究

研究分野や調査地域にテーマをしぼって調査研究を進めるもので、その成果は次年度以降の展示などで公表する。

ア 守屋コレクション

趣 旨： 内外の古地図を核とする「守屋壽コレクション」所収の資料には、国絵図や城絵図など西日本を中心に各地の古地図が一定数存在する。また、江戸時代の地方の名所図会や江戸の名所図会、旅行に使用された道中図もある。これらを組み合わせて、展示構成を考える。成果は、平成 30 年度の企画展で公開する。

内 容： 行基図・伊能図などの日本地図の変遷、国絵図・城絵図等の調査・分析

担 当：久下 実

イ ひろしま考古学最前線

趣 旨： 来年度の全国巡回展「発掘された日本列島」展の開催に合わせ、広島県内で行われた近年の発掘調査・研究の成果を公開するため、旧石器時代から近代までの遺跡・遺物を選択する。

内 容： 広島県内の近年の発掘調査の成果、新発見・再発見の研究成果など。

担 当： 尾崎 光伸

(3) 保存処理，保存修理

博物館が取り扱う多様な材質でできた様々な資料を、それぞれの特性に応じた適切な保存方法を考案・研究し、資料の永久保存と活用を図るものである。重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」及び未指定の草戸千軒町出土資料の保存処理並びに重要文化財「菅茶山関係資料」の保存修理を、国庫補助事業として行った。

ア 重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」

重要文化財に指定された 2,930 点について、保存と活用を図るために、早急な処理が必要な資料から保存処理を行う。平成 29 年度は、第 5 期 5 年計画の 3 年目に当たり、金属製品・木製品について、国庫補助金を得て解体・復元・修理を行った。

対 象：木製品 1 点（編具〔つちのこ〕）及び金属製品 5 点（釘・簪・熊手・刀子・のみ）

処理方法：樹脂含浸処理及び保管用台座製作（熊手）

担 当：尾崎光伸

イ 草戸千軒町遺跡出土資料

重要文化財に指定されていない草戸千軒町遺跡出土資料のうち、第 1 次～第 4 次調査で出土した鉄製品について、国庫補助金を得て保存処理を行った。

対 象：鉄製品 150 点

処理方法：セスキ炭酸ナトリウム水溶液による脱塩の後、パラロイド NAD-10V による樹脂含浸処理

担 当：尾崎光伸

ウ 重要文化財「菅茶山関係資料」

作成後 200 年以上経過し全般的に劣化が進んでいるため、保存・活用が困難なものが多く、特に書画類は早急な措置が必要である。そこで、保存・活用の観点から緊急度の高い資料から順次計画的に保存修理を実施する。平成 29 年度は、第 5 期 5 年計画の 3 年目で、書画類 2 点の保存修理を行い、より安定した状態で保管するための保存箱を製作した。

平成 29 年度事業の概要

対 象：菅茶山肖像画，雑画卷 計 2 点

修理方法：本紙の修復，表装裂の取り替え，保存箱の新調

担 当：岡野将士

(4) 研修・研究会等

ア 研修会・研究会等への参加

名称	開催日	主催	会場	参加者
管理者（第一部）研修	6 月 13 日（火）～ 14 日（水）	広島県自治総合研修セ ンター	広島県自治総合研修 センター	木村信幸
公開承認施設担当者会議	7 月 25 日（火）	文化庁	文部科学省第二講堂	石橋健太郎
国宝・重要文化財(美術工芸品) 防災・防犯対策研修会	7 月 26 日（水）	文化庁	文部科学省第二講堂	石橋健太郎
IP セミナー	10 月 25 日（水）	九州国立博物館	九州国立博物館	地頭所久美子 久下 実
日本博物館協会中国支部研修 会	11 月 9 日（木）～ 10 日（金）	日本博物館協会中国支 部	ピュアリティまきび	渡邊政則 久下 実
行政文書・古文書保存管理講習 会	11 月 21 日（火）	広島県立文書館	広島県立文書館	久下 実 石橋健太郎
第 7 回ミュージアム・マネジメ ント研修	12 月 13 日（水）～ 15 日（金）	文化庁	東京国立博物館 附 属黒田記念館セミナ ー室	木村信幸
博物館学芸員専門講座	12 月 13 日（水）～ 15 日（金）	文部科学省 国立教育政策研究所	国立教育政策研究所 社会教育実践研究セ ンター	岡野将士
平成 29 年度日本博物館協会研 究協議会 テーマ 2 文化財 の保存と活用	平成 30 年 3 月 8 日(木)～ 9 日(金)	公益財団法人日本博物 館協会	京都国立近代美術館	石橋健太郎

平成 29 年度事業の概要

3 資料の収集・保管

展示・調査研究などの目的のため、考古・歴史・民俗・美術工芸等に関する資料を、実物資料・複製・模型等の形態で収集・保管している。

(1) 実物資料

ア 実物資料点数

	考 古	歴 史	民 俗	美 工	その他	計
平成 28 年度までの分	22,967	15,023	2,914	146	37	41,087
平成 29 年度分	0	611	0	0	0	611
合計	22,967	15,634	2,914	146	37	41,698

イ 収集資料等一覧

分 野	資 料 名	点 数	収集形態	備 考
歴史	備後鉄道線路平面図	1 点	寄附	
歴史	両備軽便鉄道株式会社線路実測平面図	1 点	寄附	
歴史	斉藤芳克コレクション	271 点	寄附	
歴史	中学校社会科教科書等	29 点	寄附	
歴史	鉄道関連資料	12 点	寄附	
歴史	乗車券ほか	242 点	寄附	
歴史	守屋壽コレクション 追加	55 点	寄託	

(2) 製作資料

製作資料点数

	考 古	歴 史	民 俗	美 工	その他	計
平成 28 年度までの分	46,215	100	36	11	19	46,381
平成 29 年度分	0	0	0	0	0	0
合計	46,215	100	36	11	19	46,381

(3) 映像資料

ア 映像資料本数

	16 ミリ	ビデオ・DVD	レザ-ディスク	スライド	その他	計
平成 28 年度までの分	34	28	13	9	0	84
平成 29 年度分	0	0	0	0	1	1
合計	34	28	13	9	1	85

イ 製作資料一覧

分野	資料名	点数	収集形態	備考
歴史	VR 遣明船 (DVD)	1 点	寄附	

(4) 図書資料

当館が収蔵している図書資料は、考古・歴史・民俗・美術工芸等に関する書籍、歴史・文化財関係の雑誌、全国各地の発掘調査報告書、他の博物館・資料館等で開催された展覧会の図録、研究機関発行の機関誌など多岐にわたるが、当館の歴史博物館としての性格上、その多くが研究分野の図書である。

収集方法は、購入・寄贈・寄附に大別される。寄贈図書は当館刊行物との交換で他館から贈られた図書資料であり、寄附図書は寄附行為により当館に寄せられた図書である。当館では図書の貸出しは行っていないが、1階に図書室を設けているので、入館者は配架されている図書を閲覧することができる。

現在までに収蔵、登録処理の完了した図書資料数は、次のとおりである。なお、年報第 27・28 号で報告した平成 28 年度までの図書資料数の誤りを修正している。

ア 収蔵図書資料数(単位:冊)

	購 入	寄 贈	寄附	計
平成 28 年度までの分	13,002	87,688	31,278	131,968
平成 29 年度分	107	1,850	0	1,957
合計	13,109	89,538	31,278	133,925

4 学習支援

学習支援とは、郷土の歴史や文化等について県民が自ら学ぶ機会を提供し、当館職員及び外部講師がその活動を支援するものである。

(1) 講演会等（講演者及び講師の職名は当時）

当館が主催・共催した講演会等は、次のとおりである。

ア 講演会

(計 19 回)

実施日	区分	演題	講演者	参加人数
4月29日 (土)	春の展示開催記念講演会 博物館大学	弥生時代後期の吉備	岡山県古代吉備文化財センター 所長 宇垣 匡雅	191人
5月13日 (土)	広島県立歴史博物館友の会 共催サロントーク	エノクマのまつり 福山市 新市町鎮座スサノヲ神社の 特殊神事	吉備津神社禰宜 尾多賀 晴悟	90人
5月20日 (土)	春の展示開催記念講演会 博物館大学	卑弥呼の時代の備後南部	当館主任学芸員 中山 愉希江	203人
6月3日 (土)	広島県立歴史博物館友の会 共催 文化講演会	卑弥呼の共立と倭国の新生	桜井市纏向学研究センター 所長 寺沢 薫	240人
7月15日 (土)	企画展開催記念講演会 博物館大学	坂本龍馬の生涯とひろしま	高知県立坂本龍馬記念館 学芸課長 前田 由紀枝	342人
7月29日 (土)	備陽史探訪の会共催 公開講座	安芸の山城	安芸高田市歴史民俗資料館 学芸員 秋本 哲治	142人
8月5日 (土)	企画展開催記念古文書講座	坂本龍馬の手紙を読む	当館主任学芸員 岡野 将士	146人
8月6日 (日)	企画展開催記念 月琴と朗 読による 朗読音楽会	月琴で綴る龍馬の手紙	月琴奏者 永田斉子 朗読 福山誠之館高校・福山明王 台高校・尾道北高校生徒ほか	184人
8月19日 (土)	企画展開催記念講演会 博物館大学	坂本龍馬と薩長同盟	広島大学名誉教授 三宅 紹宣	256人
8月26日 (土)	備陽史探訪の会共催 公開 講座	備陽史研究第25集発刊記念 講演会	備陽史探訪の会会員	120人
9月9日 (土)	平山郁夫文化財セミナー	「大唐西域壁画」から辿る玄 奘三蔵の道	平山郁夫美術館 特任研究員 松崎 哲	53人
9月16日 (土)	備陽史探訪の会共催 公開 講座	備後の国人領主	備陽史探訪の会 会長 田口 義之	110人
10月21日 (土)	平山郁夫文化財セミナー	敦煌より見た東アジアの源 流	広島大学大学院教授 荒見泰史	43人
10月28日 (土)	特別展開催記念講演会・比治 山大学・みよし風土記の丘ミ ュージウム共催 公開講座	新世紀エヴァンゲリオンを 生んだ日本アニメーション	比治山大学短期大学部 講師 宮崎 しずか	45人
11月11日 (土)	特別展開催記念講演会 博物館大学	ふるさとの刀匠 法華一乗	当館主任学芸員 山本 智宏	131人
12月2日 (土)	芸備友の会共催 公開講座	広島県の旧石器・縄文時代 の生活	広島県教育委員会文化財課 指導主事 沖 憲明	78人
1月27日 (土)	早春の展示開催記念講演会 考古学講座	日本の色絵磁器の創始と発 展 江戸時代、有田の色絵 技術とその伝播	佐賀県立九州陶磁文化館 名誉顧問 大橋 康二	120人
2月17日 (土)	早春の展示開催記念講演会 考古学講座	姫谷焼と福山藩内の近世陶 磁器窯跡	当館主任学芸員 尾崎 光伸	144人
3月3日 (土)	早春の展示開催記念講演会 考古学講座	広島県内の近世遺跡におけ る陶磁器の動向	東広島市教育委員会文化課 主査 石垣 敏之	106人

イ 博物館大学（企画展開催記念講演会と兼ねて実施。）

（計 5 回）

実施日	演 題	講 師	参加人数
4月29日（土）	弥生時代後期の吉備	岡山県古代吉備文化財センター 所長 宇垣 匡雅	191人
5月20日（土）	卑弥呼の時代の備後南部	当館 主任学芸員 中山 愉希江	203人
7月15日（土）	坂本龍馬の生涯とひろしま	高知県立坂本龍馬記念館 学芸課長 前田 由紀枝	342人
8月19日（土）	坂本龍馬と薩長同盟	広島大学名誉教授 三宅 紹宣	256人
11月11日（土）	ふるさとの刀匠 法華一乗	当館 主任学芸員 山本 智宏	131人

ウ その他

実施日	区分	実施者	参加人数
8月5日（土）	企画展開催記念茶会	裏千家淡交会福山支部	216人
8月6日（日）	企画展開催記念茶会	裏千家淡交会福山支部	171人
8月19日（土）	企画展開催記念茶会	上田宗箇流福山支部	81人
8月20日（日）	企画展開催記念茶会	上田宗箇流福山支部	110人
9月2日（土）	企画展開催記念茶会	表千家同門会備後支部	210人
9月3日（日）	企画展開催記念茶会	表千家同門会備後支部	235人
9月30日（土）	特別展開催記念銘切実演	赤松伸咲	36人
10月1日（日）	特別展開催記念銘切実演	赤松伸咲	19人
10月7日（土）	特別展開催記念銘切実演	木下宗憲	17人
10月8日（日）	特別展開催記念銘切実演	木下宗憲	41人
10月9日（月・祝）	特別展開催記念銘切実演	木下宗憲	41人
10月14日（土）	特別展開催記念銘切実演	安藤広康	48人
10月15日（日）	特別展開催記念銘切実演	安藤広康	26人
10月21日（土）	特別展開催記念銘切実演	赤松伸咲	18人
10月22日（日）	特別展開催記念銘切実演	赤松伸咲	10人
10月28日（土）	特別展開催記念銘切実演	川島一城	37人
10月29日（日）	特別展開催記念銘切実演	上山陽三	22人
11月3日（金・祝）	特別展開催記念銘切実演	横井彰二	36人
11月4日（土）	特別展開催記念銘切実演	横井彰二	24人
11月5日（日）	特別展開催記念銘切実演	横井彰二	41人
11月11日（土）	特別展開催記念銘切実演	安藤広康	21人
11月12日（日）	特別展開催記念銘切実演	安藤広康	32人
11月18日（土）	特別展開催記念銘切実演	片山重恒	27人
11月19日（日）	特別展開催記念銘切実演	片山重恒	38人
11月23日（木・祝）	特別展開催記念銘切実演	三上貞直	86人
11月25日（土）	特別展開催記念銘切実演	上山陽三	42人
11月26日（日）	特別展開催記念銘切実演	上山陽三	48人
11月26日（日）	特別展開催記念日本刀体験教室	玉置城二・関山和進	66人
12月2日（土）	特別展開催記念銘切実演	川島一城	51人
12月3日（日）	特別展開催記念銘切実演	川島一城	82人
1月2日（火）	ミニ展示関連 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	久下 実	41人
1月3日（水）	ミニ展示関連 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	久下 実	28人
1月6日（土）	ひろしま文化振興財団福山分室共催雅楽演奏会	宮内雅楽同好会	188人

(2) 他機関主催講演会等講師（他機関が主催する講演会・講座等の講師を務めた。）

（計 27 回）

講演会等名	主催	開催日	会場	演題	講演者
放送大学入学者のつどい	放送大学広島学習センター	4月2日（日）	福山サテライトスペース	博物館利用説明	岡野将士
JFEフェスタ	JFE西日本	5月14日（日）	JFE西日本	体験教室等	木村信幸 尾崎光伸
ふどきの丘春まつり	広島県立歴史民俗資料館	5月14日（日）	みよし風土記の丘	中世衣装体験	石橋健太郎 橋本愛子

平成 29 年度事業の概要

初任者研修	福山東警察署	5月17日 (水)	広島県立歴史博物館	初任者研修	木村信幸
福山を学ぼう会	文化ゾーンで福山を学ぼう会	5月18日 (木)	広島県立歴史博物館	卑弥呼の時代の福山	尾崎光伸
史跡ハイキング	北広島町教育委員会	5月21日 (日)	広島県史跡今田氏城館跡	今田氏城館跡を歩く	木村信幸
人文地理学講義	福山大学人間文化学部	6月14日 (水)	福山大学	人文地理	久下 実
初任者研修	福山東警察署	6月28日 (水)	広島県立歴史博物館	初任者研修	木村信幸
福山を学ぼう会	文化ゾーンで福山を学ぼう会	7月20日 (木)	広島県立歴史博物館	郷土の歴史 藩主阿部・水野	岡野将士
連続講座	頼山陽史跡資料館	7月22日 (土)	頼山陽史跡資料館	地表面観察から見た中世山城	尾崎光伸
博物館教育論講義	県立広島大学人間文化学部	7月24日 (月)	県立広島大学	博物館教育論	久下 実
生涯学習への誘い	松永生涯学習センター	8月17日 (木)	福山市立松永図書館	土佐から来たぜよ！坂本龍馬展	岡野将士
岩国徴古館郷土史講座	岩国徴古館	8月20日 (日)	サンライフ岩国	石つき之もの共	木村信幸
生涯学習への誘い	東部生涯学習センター	8月29日 (火)	福山市東部市民センター	土佐から来たぜよ！坂本龍馬展 手紙に見る龍馬の魅力	岡野将士
福山市御野公民館歴史講座	福山市御野公民館	9月2日 (土)	福山市御野公民館	卑弥呼の時代の備後南部	中山愉希江
連続講座	頼山陽史跡資料館	9月16日 (土)	合人社ウエントィひと・まちプラザ	古文書から見た中世山城	木村信幸
教養科講座	福山市老人大学	9月21日 (木)	福山市老人大学	エヴァンゲリオンと日本刀展	木村信幸
放送大学 入学者のつどい	放送大学広島学習センター	9月24日 (日)	福山サテライトスペース	博物館利用説明	尾崎光伸
ふどきの丘秋まつり	広島県立歴史民俗資料館	10月14日 (土)	みよし風土記の丘	体験教室等	中山愉希江 橋本愛子
府中まなびフェスタ	府中市教育委員会	10月29日 (日)	府中市歴史民俗資料館	中世衣装体験	中山愉希江 橋本愛子
歴史講演会	神辺学区まちづくり協議会	11月18日 (土)	神辺公民館	菅茶山と松平定信	岡野将士
パネルディスカッション	古代歴史文化協議会	11月18日 (土)	よみうり大手町ホール	古墳時代の玉飾りの世界	尾崎光伸
初任者研修	福山東警察署	11月29日 (水)	広島県立歴史博物館	初任者研修	木村信幸
初任者研修	福山東警察署	12月6日 (水)	広島県立歴史博物館	初任者研修	木村信幸
大田庄歴史館歴史入門講座	世羅町大田庄歴史館	12月17日 (日)	世羅町大田庄歴史館	卑弥呼の時代の備後南部	中山愉希江
歴風トーク	広島県立歴史民俗資料館	1月14日 (日)	広島県立歴史民俗資料館	毛利元就次男の元春が吉川家を相続するという事	木村信幸
子どもと地域の歴史を学ぶ	福山市土地改良区水士里ネット	2月25日 (日)	広島県立歴史博物館	常設展解説	尾崎光伸

(3) 展示解説

(計9回)

実施日	区分	内容	解説者	参加人数
5月5日(金・祝)	第265回	春の展示「卑弥呼の時代の備後南部」	中山愉希江	21人
5月27日(土)	第266回	春の展示「卑弥呼の時代の備後南部」	中山愉希江	11人
7月22日(土)	第267回	企画展「土佐から来たぜよ！坂本龍馬」	前田由紀枝	46人
8月11日(金・祝)	第268回	企画展「土佐から来たぜよ！坂本龍馬」	前田由紀枝	79人

平成 29 年度事業の概要

8月26日(土)	第269回	企画展「土佐から来たぜよ!坂本龍馬」	前田由紀枝	123人
11月25日(土)	臨時	サヨナラ草戸千軒 展示室	尾崎光伸	58人
2月3日(土)	第270回	早春の展示「姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡」	尾崎光伸	25人
2月24日(土)	第271回	早春の展示「姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡」	尾崎光伸	26人
3月10日(土)	臨時	早春の展示「姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡」	尾崎光伸	21人

(4) こども博物館教室

子供たちを対象として、体験しながら歴史や地域の伝統産業について学ぶ機会を提供する。

ア 夏休みだよ!こども博物館教室

(計4回)

実施日	行事名	講師	参加人数
7月22日(土)	堅豆腐を作ろう	中山愉希江, 細谷紗桜, 橋本愛子	24人 (子供14人, 大人10人)
7月23日(日)	藍染をしよう	けんぱくボランティアスタッフ 山本智宏, 細谷紗桜, 橋本愛子	45人 (子供23人, 大人22人)
7月29日(土)	い草を織ろう	畳表技術伝承者 来山淳平 尾崎光伸, 細谷紗桜, 橋本愛子	39人 (子供24人, 大人15人)
7月20日(土)	ミニ畳を作ろう	和ごころ工房 秦郁次郎 久下実	28人 (子供17人, 大人11人)

イ お正月だよ!こども博物館

実施日	内容	参加人数
1月2日(火), 3日(水)	こままわし・はねつき・けんだま・貝合わせ等	1,384人(子供747・保護者637)

(5) ボランティア育成

より多様な生涯学習の機会を設けるため、博物館業務をボランティア活動の場として提供した。登録人数 42 人。

(業務の重複あり)

ア ボランティア研修講座

実施日	参加人数
12月2日(土)	1人
12月3日(日)	4人
12月16日(土)	1人
12月17日(日)	5人
1月6日(土)	1人
1月7日(日)	6人
1月20日(土)	2人
1月21日(日)	3人
2月3日(土)	1人
2月4日(日)	4人
2月10日(土)	4人
2月18日(日)	3人
2月25日(日)	1人
3月10日(土)	21人

イ ボランティアの活動内容等

業務区分	活動内容	活動日時	登録人数
解説	来館者に常設展示の解説を行う	毎週日曜日 10:00~16:00	9人
図書	来館者に歴史文化情報の提供を行う	毎週水曜日 10:00~15:00	18人
備後研資料整理	備後研資料の整理を行う	毎月第4火曜日 10:00~15:00	5人

平成 29 年度事業の概要

古文書資料整理	当館所蔵の古文書の整理を行う	毎月第 2・4 木曜日 10:00~15:00	3 人
考古資料整理	当館所蔵の考古資料の整理を行う	毎月第 2 水曜日・第 4 土曜日 10:00~15:00	12 人
鉄道資料整理	当館所蔵の鉄道関係資料の整理を行う	毎月第 1 木曜日・第 3 土曜日 13:00~16:00	1 人
その他	ワークショップなどの実施・補助等	随時	6 人

(6) 学校連携

学校からの要望に応じて、各種授業、講演、職場体験学習・インターンシップの受入れを行った。

ア 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の無料団体見学

平成元年の開館から平成28年度までの状況及び29年度の状況は、次のとおりである。

区分	県内		県外		合計	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
昨年度まで	3,783	226,706	240	14,346	4,023	241,052
29 年度	91	4,388	3	133	94	4,521
総合計	3,874	231,094	243	14,479	4,117	245,573

平成19年度分から幼稚園・保育所の数を含む。

イ ゲストティーチャー

(計 20 件)

実施日	学校名・学年等	内容	派遣職員
5月9日(火)	東広島市立中黒瀬小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	久下 実
5月12日(金)	尾道市立美木原小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	山本智宏
5月19日(金)	福山市立川口小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	橋本愛子
6月9日(金)	福山市立瀬戸小学校 6 年生	総合的な学習の時間	尾崎光伸
6月30日(金)	福山市立宜山小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	山本智宏
7月12日(水)	福山市立西小学校 6 年生	タブレット活用学習	尾崎光伸
8月30日(水)	府中市立明郷学園小学 6 年生	修学旅行の事前学習	久下 実
9月5日(火)	広島県立高陽東高等学校 3 年生	総合的な学習の時間	尾崎光伸
9月5日(火)	府中市立府中学園 6 年生	修学旅行の事前学習	橋本愛子
9月6日(水)	福山市立南小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	橋本愛子
9月7日(木)	三原市立深小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	久下 実
9月8日(金)	三原市立幸崎小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	久下 実
9月8日(金)	三次市立田幸小学校 6 年生	茶道体験	石橋健太郎
9月20日(水)	福山市立瀬戸小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	尾崎光伸
9月28日(木)	福山市立千年小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	山本智宏
10月17日(火)	福山市立能登原小学校 6 年生	修学旅行の事前学習	尾崎光伸
11月1日(水)	福山市立瀬戸小学校 6 年生	修学旅行の事後学習	尾崎光伸
11月7日(火)	芦名まなび学園高等学校	守屋壽コレクションの古地図に見る日本の形・世界の形のうつりかわり	久下 実
2月7日(水)	福山市立瀬戸小学校	総合的な学習の時間	尾崎光伸
2月9日(金)	尾道市立久保小学校	地域学習	尾崎光伸

ウ 職場体験学習・インターンシップ

実施日	学校名	参加人数
8月2日(水)~4日(金)	沼南高等学校	1 人
8月3日(木)	福山北特別支援学校	8 人
8月22日(火)~25日(金)	ふくやまチャレンジウィーク	5 人
8月29日(火)~2日(土)	BINGOインターンシップ	1 人
10月18日(水)~19日(木)	近畿大学附属福山中学校	6 人
10月30日(月)	福山北特別支援学校	9 人
12月12日(火)	福山北特別支援学校	9 人

平成 29 年度事業の概要

2月15日(木)	福山北特別支援学校	9人
----------	-----------	----

エ 教員免許更新講習

実施日	参加人数
8月9日(水)	36人

オ 研修・講座等

実施日	団体名	内容	参加人数
8月4日(金)	福山市立城北中学校区	夏季研修会	113人
9月7日(木)	県教育委員会義務教育課	新教育課程地方説明会	270人
11月14日(火)～15日(水)	福山市教育委員会	初任者研修	136人

カ 博物館実習

博物館法施行規則第1条の規定に基づく大学からの受入れの要請により、実施する。

(ア) 博物館実習

期間	受入大学名	参加人数
7月26日(水)～8月1日(火)	愛媛大学、尾道市立大学、京都橘大学、くらしき作陽大学、福山大学、龍谷大学	11人

(イ) 博物館見学実習

期日	受入大学名	参加人数
5月13日(土)	徳島文理大学	15人
5月20日(土)	岡山理科大学	98人
6月24日(土)	福山大学	15人
8月6日(日)	國學院大学	31人
9月14日(木)	県立広島大学	11人
10月6日(金)	岡山商科大学	4人
10月10日(火)	福山大学	35人
10月15日(日)	放送大学	19人
11月18日(土)	県立広島大学	58人
11月25日(土)	広島大学	38人

(7) 出版

ア 『広島県立歴史博物館ニュース』

博物館の活動状況などを紹介するニュース第111号～第114号を作成した。

号数	発行日	内容	執筆者
111	6月7日	企画展「坂本龍馬展 中国地方初公開！」 重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」・重要文化財「菅茶山関連資料」 昨年度、保存修理を行った重要文化財を紹介します 「頼山陽と酒」にまつわる話 デジタルミュージアムのページを新設しました	岡野将士 尾崎光伸 花本哲志 久下 実
112	8月25日	特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展 IN 福山」 ふるさとの刀匠 法華一乗 備後刀の歴史と美 どっちを上に表示する? - 勝海舟撰「大日本沿海略図」 - 「頼山陽と酒」にまつわる話	石橋健太郎 石橋健太郎 久下 実 花本哲志
113	12月1日	早春の展示「姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡」 頼山陽史跡資料館「屏風の味わい」	尾崎光伸 花本哲志
114	3月6日	春の展示「広島ものづくり」 頼山陽史跡資料館「南画精華展」	山本智宏 花本哲志

イ 調査研究

- (ア) 『草戸千軒町遺跡調査研究報告 13 草戸千軒町遺跡出土の土師質土器 1 期の椀・杯・皿類』
重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」及び未指定品のうち、草戸千軒町遺跡の土器編年の 期の遺構から出土した土師質土器の椀・杯・皿類533点の集成。A 4 判, 36頁
- (イ) 『広島県立歴史博物館 研究紀要』 第 20 号 A 4 判, 48 ページ
- ・ 国宝明王院五重塔内の不動明王・愛染明王像
保存修復記録及び西大寺流律宗との関連性について 濱田 宣
 - ・ 万徳院の諸施設の整備について 木村 信幸
 - ・ 浄土寺住持光國の茶の湯 石橋 健太郎

(8) 新聞・雑誌への連載

ア ビジネス情報

掲載日	内容	執筆者
4月20日	春の展示「卑弥呼の時代の備後南部」	中山愉希江
5月20日	春の展示「卑弥呼の時代の備後南部」	中山愉希江
6月20日	企画展「土佐から来たぜよ！坂本龍馬展」	岡野 将士
7月20日	企画展「土佐から来たぜよ！坂本龍馬展」	岡野 将士
8月20日	企画展「土佐から来たぜよ！坂本龍馬展」	岡野 将士
9月20日	特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」	石橋健太郎
10月20日	特別展示「ふるさとの刀匠 法華一乗 備後刀の歴史と美」	石橋健太郎
11月20日	ミニ展示「音を記録する レコードの歴史と魅力」	久下 実
12月20日	パネル展「広島県・ハワイ州友好提携20周年記念 広島から世界へ 移住の歴史と日系人の暮らし」	木村 信幸
1月20日	早春の展示「姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡」	尾崎 光伸
2月20日	早春の展示「姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡」	尾崎 光伸
3月20日	ミニ展示「中世文書を読む (8) 毛利輝元の手紙」	木村 信幸

(9) 他機関への指導

名称	開催日	主催	会場	参加者
今治市村上水軍博物館協議会	11月15日(水)	今治市村上水軍博物館	今治市村上水軍博物館	木村 信幸
特別史跡廉塾ならびに菅茶山旧宅保存整備検討委員会	3月17日(土)	福山市教育委員会	福山市役所	岡野 将士

(10) 広島県立歴史博物館友の会

広島県立歴史博物館友の会は、歴史・文化に関心のある人々の集まりで、当館の展示等を通して会員自らの教養を豊かにするとともに、会員相互の親睦を深め、また、当館の行う事業に協力し、地域文化の向上に寄与することを目的として、平成2年度に設立された。会員数 131 人（平成 30 年 3 月 31 日現在）。

平成 29 年度には、次の行事・活動を行った。

ア 会議等の開催

開催日	行事名
4月22日(土)ほか11回	幹事会
5月27日(土)・1月28日(日)	理事・幹事合同会議
5月27日(土)	監査
6月3日(土)	理事会・総会

イ 講演会、文化・歴史サロン、演劇等の開催

開催日	行事名	演題・内容と講師・演者	参加者数
5月13日(日)	文化・歴史サロン	演題：エノクマのまつり 講師：友の会幹事 尾多賀晴悟	75人
6月3日(土)	文化講演会 (博物館と共催)	演題：卑弥呼の共立と倭国の新生 講師：桜井市纏向学術センター所長 寺澤 薫	240人
7月20～21日 (木～金)	宿泊研修旅行	龍馬脱藩ツアー 訪問先 高知城歴史博物館他	17人
11月4日(土)	第19回創作邦楽劇 「草戸千軒絵巻」	福山市立駅家西小学校3年生50名・保護者 笛奏者：滝沢成美, 大倉流小鼓方：高橋奈王子 喜多流シテ方：大島文恵・大島紀恵	184人
11月28日(火)	一日研修旅行	備前の国 錦秋/牛窓・和気・八塔寺彩ツアー 訪問先 岡山県瀬戸内市・備前市・和気町	26人
2月24日(土)	文化・歴史サロン兼 文化講演会	演題：草戸木簡は語る 講師：広島県立歴史民俗資料館館長 下津間康夫	95人

ウ ニュース等の発行

友の会だより 202(平成29年4月22日)～205(平成30年3月1日)

エ ミュージアムショップの運営

平成 29 年度事業の概要

5 利用状況

(1) 入館者数

ア 常設展

(単位:人・日)

月別	開館 日数	有料入館者数					無料入館者数					入館者 総計	1日 平均
		個人(前売含む)		団体		合計	一般	留学生	小・中・高等		合計		
		一般	大学生	一般	大学生				学校行事	個人			
4	26	469	14	240	2	725	616	0	522	205	1,343	2,068	80
5	27	939	44	464	103	1,550	1,206	13	834	314	2,367	3,917	145
6	22	442	35	222	42	741	1,000	1	322	96	1,419	2,160	98
7	27	235	45	111	165	556	2,261	11	52	118	2,442	2,998	111
8	27	220	35	91	30	376	4,755	2	386	289	5,432	5,808	215
9	26	323	25	167	4	519	2,859	5	708	119	3,691	4,210	162
10	28	195	12	261	34	502	4,997	0	721	79	5,797	6,299	225
11	26	245	27	943	1	1,216	7,947	4	227	666	8,844	10,060	387
12	23	230	22	171	29	452	1,716	1	46	51	1,814	2,266	99
1	27	466	25	136	3	630	2,306	1	16	141	2,464	3,094	119
2	21	447	21	287	6	761	1,038	0	93	113	1,244	2,005	95
3	27	610	45	272	15	942	1,014	1	24	192	1,231	2,173	80
合計	306	4,821	350	3,365	434	8,970	31,715	39	3,951	2,383	38,088	47,058	151

イ 企画展・特別展

月別	開館 日数	有料入館者数							無料入館者				入館者 総計	1日 平均
		個人(前売含む)			団体			合計	一般	学校教育活動・キャンパスメンバース	子供の日・文化の日等	合計		
		一般	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生							
7	16	1,758	64	198	17	0	4	2,041	412	36	0	448	2,489	156
8	27	4,081	213	602	98	0	0	4,994	809	170	0	979	5,973	221
9	9	1,993	82	141	0	0	0	2,216	748	59	0	807	3,023	336
小計	52	7,832	359	941	115	0	4	9,251	1,969	265	0	2,234	11,485	221
9	1	220	40	36	28	0	1	325	113	0	0	113	438	438
10	27	3,343	217	445	519	12	19	4,555	1,125	0	0	1,125	5,680	220
11	26	3,613	298	476	521	130	88	5,126	1,315	60	0	1,375	6,501	250
12	3	952	71	210	69	3	14	1,319	468	6	0	474	1,793	598
小計	57	8,128	626	1,167	1,137	145	122	11,325	3,021	66	0	3,087	14,412	253
合計	109	15,960	985	2,108	1,252	145	126	20,576	4,990	331	0	5,321	25,897	238

(2) 行事等参加者数

月別	講演会	博物館大学	展示解説会	古文書 学習会	考古学 学習会	こども 博物館 教室	学校利用 等	その他	合計
4	191	(191)					727	18	936
5	293	(203)	32				1,371	637	2,369
6	520				48		639	97	1,256
7	484	(342)	46			136	270	710	1,646
8	376	(256)	202	146			741	1,087	2,552

平成 29 年度事業の概要

9	421					1,165	1,168	2,754	
10	337					838	490	1,665	
11	255	(131)	58			984	2,688	3,985	
12	78					107	172	357	
1	120		51	(120)	1,384	158	299	2,012	
2	389			(144)		314	101	804	
3	106		21	(106)		217	27	371	
合計	3,570	(1,123)	410	146	(370)	1,520	7,531	7,530	20,707

博物館大学の参加者数は、講演会参加者数に含まれる。

(3) 利用者数等総括表

年度	常設展		企画展		特別展		入館者合計	学習支援	施設利用他	合計
	日数	入館者数	日数	入館者数	日数	入館者数				
元	126	80,118	0	0	31	86,915	167,033	2,078	564	169,675
2	311	77,923	53	19,444	9	5,023	102,390	3,774	740	106,904
3	306	71,087	53	23,595	19	14,290	108,972	4,000	691	113,663
4	303	62,057	56	15,766	0	0	77,823	3,937	517	82,277
5	309	70,845	56	14,366	29	14,215	99,426	3,901	359	103,686
6	302	60,457	57	13,076	44	9,758	83,291	5,300	315	88,906
7	304	62,133	53	15,451	46	29,871	107,455	5,441	1,118	114,014
8	306	49,633	58	10,610	0	0	60,243	2,042	1,508	63,793
9	305	43,290	58	6,954	0	0	50,244	3,579	278	54,101
10	305	45,823	58	8,662	27	93,353	147,838	7,526	417	155,781
11	305	39,704	46	10,782	0	0	50,486	3,152	676	54,314
12	304	33,476	27	2,889	54	13,397	49,762	2,731	168	52,661
13	306	36,423	27	2,796	36	13,805	53,024	3,281	177	56,482
14	307	35,184	34	4,301	29	4,444	43,929	2,511	59	46,499
15	308	44,109	63	6,635	0	0	50,744	6,407	521	57,672
16	312	37,188	55	7,564	0	0	44,752	6,082	707	51,541
17	304	33,747	78	15,409	0	0	49,156	5,650	2,514	57,320
18	305	43,505	60	7,239	34	38,329	89,073	7,538	1,168	97,779
19	308	35,445	85	6,198	0	0	41,643	14,229	4,585	60,457
20	314	69,397	73	10,824	35	42,946	123,167	19,331	5,336	147,834
21	308	32,062	80	11,034	0	0	43,096	15,934	2,506	61,536
22	302	31,879	80	9,098	0	0	40,977	16,459	4,562	61,988
23	315	37,443	47	2,744	30	23,690	63,877	24,337	4,026	92,240
24	309	32,798	99	7,549	0	0	40,347	25,155	2,395	67,897
25	314	40,663	49	3,640	47	12,622	56,925	28,125	1,347	86,397
26	315	37,813	42	7,544	45	23,930	69,287	29,163	1,774	100,224
27	309	31,674	81	14,738	0	0	46,412	21,337	3,086	70,835
28	307	42,445	86	17,750	0	0	60,195	29,547	2,372	92,114
29	306	47,058	52	11,485	57	14,412	72,955	29,498	2,714	105,167
合計	8,735	1,365,379	1,666	288,143	572	441,000	2,094,522	332,045	47,200	2,473,757

(4) 資料の利用状況

ア 収蔵・保管資料の貸出

	貸出先	利用目的	資料名	貸出期間
1	九州国立博物館長	九州国立博物館文化交流展示「海の道,アジアの路」(平常展)での展示	伝アフリカ採集両面加工の礫器(当館『研究紀要』第5号第2頁第1図2)	4月1日~3月31日
2	三原市教育委員会教育長	常設展示での展示及び調査研究	石器(宿禰島遺跡出土)他 全51点	4月1日~3月31日
3	福山市教育委員会教育長	常設展示での展示及び調査研究	石器(宮脇遺跡出土)他 全697点	4月1日~3月31日
4	歴史民俗資料館長	常設展「ひろしまの原始・古代」での展示	縄文土器(馬取遺跡出土)他 全8点	4月1日~3月31日
5	国立歴史民俗博物館長	常設展「総合展示 - 中世 - 東国と西国」での展示	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 土師質土器杯など全10点	4月1日~3月31日
6	三原市教育委員会教育長	「小早川隆景展」での展示	沼田新高山之図	5月14日~7月15日
7	神戸市立博物館長	神戸開港 150 年記念特別展「開国への潮流」での展示	守屋壽コレクション 世界図など計4点	7月28日~10月7日
8	福山市立福山城博物館長	大政奉還 150 周年記念プロジェクト企画特別展「福山藩・明治維新への胎動」での展示	守屋壽コレクション 長崎港と湾の眺望など計6点	9月12日~11月26日
9	文化財課長	県会副議長室での展示	絹本着色菅茶山肖像画(高橋波覧画・複製資料)	8月1日~7月28日
10	公益財団法人福山市かなべ文化振興会菅茶山記念館長	第25回特別展「菅茶山没後190年,教育・文化の礎」で展示	深山帰樵図(大原呑響筆・菅茶山賛) 石に蘭荊の図(佐々木雲屋筆・菅茶山賛) 芍薬睡蝶図(渡辺南岳筆・菅茶山賛) 廉塾図(蠣崎波響筆・岡本花亭賛・旧相馬邸蔵,複製資料) 天命之謂性(窪田次郎書)	9月22日~11月30日
11	福山市鞆の浦歴史民俗資料館長	特別展「朝鮮通信使が見た鞆の浦」で展示	黄葉夕陽文庫資料 朝鮮三使漢詩木額菅長献跋文(文化九年)など計16点	9月10日~11月19日
12	三原高等学校	高校2年生日本史Bの授業において使用	体験用古銭(一貫文)	10月20日~11月4日
13	東広島市教育委員会教育長	出土文化財企画展で展示	準構造船模型	10月24日~12月20日
14	岡山大学埋蔵文化財調査センター長	特別展示「瀬戸内海が育んだ交流の記憶」で展示	草戸千軒町遺跡出土資料 石鍋6点	1月11日~3月16日
15	奥田元宋・小由女美術館長	特別展「平田玉蘊 美の交遊」で展示	「画乗要略」	2月1日~4月30日
16	歴史民俗資料館長	春の展示会「ひろしま 遺跡再発見!」で展示	土師質土器	4月1日~6月30日
17	福山市教育委員会教育長	企画展「絵絣 糸で描くかすりの文様」で展示	絣布資料	4月20日~7月22日

イ 収蔵・保管資料の閲覧

	資料名	許可日
1	原爆焼 碗形,長湯呑,長湯呑中期旧石器	6月7日
2	三江線写真	7月1日
3	三江線資料	7月25日
4	蘭草関係資料	8月10日

平成 29 年度事業の概要

5	蘭草関連パネル	8月30日
6	守屋壽コレクション 万国総図，世界人物図	9月11日
7	草戸千軒町遺跡出土土器・陶磁器	9月22日
8	由緒書，安藤大蔵系図，分家安藤家由緒書	10月1日
9	琉球王宮舞楽図	10月21日
10	草戸千軒町遺跡出土の滑石製石鍋	12月6日
11	草戸千軒町遺跡出土の木器	12月21日
12	草戸千軒町遺跡出土の輸入陶磁器	1月2日
13	古刀銘尽大全（寛政4年），古今銘尽大全（万治4年）	1月17日
14	草戸千軒町遺跡出土の箸・食文化関連資料	1月22日
15	草戸千軒町遺跡出土の篋・刷毛・漆器など	1月24日
16	国郡全図	1月27日
17	脇差（銘 備州尾道辰房光重 / 明心二年二月）ほか 12 件	2月18日
18	守屋壽コレクション 長門国絵図，ハイネ画 久里浜上陸の図ほか 3 点	2月25日
19	三角縁神獣鏡（津之郷町所在古墳，掛迫 6 号墳）・甕龍鏡 計 3 点	2月26日
20	村上正名コレクション 計 129 点	2月28日
21	黄葉夕陽文庫資料 62 点	3月23日

ウ 写真原版・デジタルデータの使用

	申請者	利用目的	利用区分	資料名	許可日
1	個人	「2000 年後のピラミッド柴川敏之展」記録集に掲載	その他（転載）	草戸千軒町遺跡の発掘調査風景	4月8日
2	広島県立府中高等学校長	第 64 回 NHK 杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会第 58 回広島県大会テレビドキュメント部門への出品	その他（ビデオ撮影）	収蔵庫	4月8日
3	個人	里庄歴史勉強会の資料に掲載	その他（転載）	重要文化財菅茶山関係資料菅茶山肖像画 「西山処士之碑」碑文拓影	4月23日
4	東京書籍株式会社中国支社長	小学校教科書「道徳」に掲載	写真原版	草戸千軒町遺跡全景 発掘調査の様子 草戸千軒 展示室 草戸千軒町遺跡出土資料 常滑焼甕（32000060）	4月27日
5	中国新聞社編成局長	「中国新聞」への掲載	写真原版	守屋壽コレクション 官板実測日本地図（中・四国部分）	4月27日
6	日本放送協会制作局チーフプロデューサー	テレビ番組「日本人のおなまえっ！」で放送	テレビ撮影	草戸千軒 展示室	5月1日

平成 29 年度事業の概要

7	株式会社フィックス 代表取締役	テレビ番組「Jステーション まちの宝」で放送	テレビ撮影	重要文化財菅茶山関係資料 菅茶山肖像画	5月10日
8	三原市教育委員会教育長	「小早川隆景展」展示図録等に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	沼田新高山之図	5月18日
9	神戸市立博物館長	神戸開港 150 年記念特別展「開国への挑戦」展示図録等に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 19) 世界図など計 4 点	5月31日
10	福山市立福山城博物館	大政奉還 150 周年記念プロジェクト参画特別展「福山藩・明治維新への胎動」展示図録等に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 長崎港と湾の眺望など 8 点	6月14日
11	株式会社エデュケーションナルネットワーク代表取締役	『中学受験新演習社会小 6 下』に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	6月14日
12	個人	広島県縮景園友の会役員資料に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	浅野侯別邸泉邸図	6月14日
13	個人	平成の原爆焼作製に係る広報資料及び解説パネルに掲載	写真撮影	広島原爆焼 椀形・長湯呑・長湯呑	6月23日
14	戎光祥出版株式会社代表取締役	『足利義昭と織田信長』に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	足利義昭胴肩衣	6月23日
15	個人	『広島県文化財ニュース』第 230 号に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	胎蔵寺木造釈迦如来坐像胎内施入品 (ア7-1)	6月23日
16	個人	三原古文書あゆみの会の学習教材として使用	その他 (マイクロコピーフィルム紙焼き)	重要文化財菅茶山関係資料 小早川中納言行状	6月23日
17	株式会社日本入試センター代表取締役	進学教室サピックス塾内教材『デイリーサピックス小学 5 年社会 540-27 「応仁の乱と一揆の発生」』に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	足駄屋の食事	6月27日
18	石川県輪島漆芸美術館長	テーマ展「ようこそ漆塗りの世界へ」の掲示パネルで使用	その他 (申請者撮影の写真を利用)	草戸千軒町出土資料 漆皿・漆椀	7月9日
19	山陽放送代表取締役	テレビ番組「高松, 歴史礼賛」で放送	写真原版 (デジタルデータ)	貨客両用船模型	7月9日
20	白河市立歴史民俗資料館長	市報「広報しらかわ」8月号に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 白河城下図	7月9日
21	東京書籍株式会社代表取締役	高等学校地理歴史科教科書「新選日本史 B」に掲載	その他 (転載)	遣明船模型	7月25日
22	中国新聞社編成局長	「中国新聞」への掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 露西亞船建造図巻	8月5日
23	建部賢弘国際会議 2014 組織委員会論文 集責任編集者	Mathematics of Takebe Katahiro and History of Mathematics in East Asia に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 松浦静山旧蔵日本図 (享保日本図)	8月9日
24	公益財団法人蘭島文化振興財団理事長	平成 29 年松濤園所蔵品展「馬上才 海外からの曲芸師」の展示パネルで使用	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 唐人騎馬之図	8月9日
25	公益財団法人福山市 かなべ文化振興会 菅茶山記念館館長	第 25 回特別展「菅茶山没後 190 年, 教育・文化の礎」の印刷物等で使用	写真原版 (デジタルデータ)	芍薬睡蝶図 (渡辺南岳筆・菅茶山賛) 窪田次郎肖像 (窪田家文書) 天命之謂性 (窪田次郎書)	8月22日

平成 29 年度事業の概要

				小田縣蛙鳴群約束并題辞(窪田家文書) 廉塾図(蠣崎波響筆・岡本霞亭賛・旧相馬邸蔵)	
26	福山市鞆の浦歴史民俗資料館長	特別展「朝鮮通信使が見た鞆の浦」の図録等で使用	写真撮影	黄葉夕陽文庫資料 朝鮮三使漢詩木額菅長献跋文(文化九年)など計 16 点	9月9日
27	神辺学区まちづくり推進委員会委員長	「菅茶山と廉塾」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 菅茶山肖像画など計 16 点 蠣崎波響画「廉塾図」(個人蔵) 1 点	9月9日
28	株式会社雅映堂代表取締役	「文化財置保存会 手織中継表記録映像」に利用	その他(ビデオ撮影)	殖蘭図巻(複製資料)	9月9日
29	個人	特別講演「縮景園の歴史とその魅力」の資料に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	浅野侯別邸図	10月3日
30	株式会社新泉社代表取締役	「シリーズ遺跡を学ぶ 112 巻 ホゲット石鍋製作遺跡」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 石鍋 4 点, 温石 1 点	10月3日
31	安芸高田市歴史民俗博物館長	秋季企画展「さよなら三江線」の印刷物等に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	船佐駅	10月3日
32	文教大学教授	大学の講義に利用	写真撮影	体験用鏡 体験用石材 発掘体験キット	10月20日
33	株式会社吉川弘文館編集部長	「中世の喫茶文化」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 木簡 1 点, 闘茶札 3 点	10月31日
34	株式会社同成社代表取締役	「古代史料を読む 律令国家編」に掲載	その他(転載)	寺町廃寺出土軒丸瓦(拓本)	11月4日
35	東京文化財研究所修復計画研究室長	雑誌「保存科学」第 57 号に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	和霊石地藏レプリカ	11月17日
36	東広島市教育委員会教育長	出土文化財企画展展示図録「弥生時代における船と交易品」に掲載	写真撮影	準構造船模型	10月23日
37	個人	日本地図学会誌「地図」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 松浦静山旧蔵日本図(享保日本図)	1月17日
38	株式会社洋泉社代表取締役社長	「歴史 REAL 足利将軍 15 代」(仮)に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	1月24日
39	株式会社便利堂代表取締役社長	「国宝事典」第四版に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	明王院五重塔 明王院本堂	1月17日
40	広島県教育事業団理事長	「ひろしまの遺跡」119 号に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	田上 2 号古墳出土装飾須恵器(全体) 田上 2 号古墳出土装飾須恵器(部分)	2月8日
41	株式会社碧水社代表取締役	「週刊ビジュアル戦国王」89 号に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	2月8日
42	東京書籍株式会社代表取締役社長	動画学習教材「douga pocket ver. 中学社会」に使用(平成 30 年春に発行予定)	その他(再利用)	草戸千軒 展示室(実物大復元) 草戸千軒町並模型 草戸千軒町遺跡発掘調査風景 重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 大甕・国産陶器・貿易陶磁器	2月2日

平成 29 年度事業の概要

43	平凡社代表取締役	別冊太陽「伊能忠敬」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 松浦静山旧蔵日本図(享保日本図)	2月24日
44	大田市教育委員会教育長	「石見銀山学ことはじめ 概説編」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	3月10日
45	楊美莉	The circulation of elite Longquan celadon ceramics from China to Japan : an interdisciplinary and cross-cultural study に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡第 27 次発掘調査 SB1781 周辺出土青磁壺	3月10日
46	熊谷市教育委員会教育長	「熊谷市史」通史編上巻に掲載	その他(申請者撮影の写真を利用)	草戸千軒 展示室及び鍛冶屋の食卓	3月17日
47	NHK 制作局 青少年・教育番組部部長	教育番組「歴史にドキリ」での使用及び NHK ポータルサイト・番組広報に掲載	その他(申請者が撮影した映像の再利用)	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 銅銭 1 草戸千軒 展示室 中国産陶磁器・市場の風景	3月17日
48	株式会社 NHK エデュケーショナル教育部統括部長	NHK 教育番組「10min.ボックス日本史『室町幕府と民衆の成長』」の番組放送及びホームページでの配信に使用	再放送	宋銭の塊 草戸千軒 展示室	3月20日
49	三次市長	「広報みよし」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	福塩線の写真	3月20日
50	東広島市教育委員会教育長	広報誌「東広島市出土文化財管理センター報 6」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡 白磁四耳壺	3月20日
51	安芸高田市歴史民俗博物館長	春季企画展「中世の刀剣と安芸高田」で使用	写真原版 (デジタルデータ)	「古今銘尽大全四巻」(部分)など計 3 点	3月20日
52	株式会社日本入試センター代表取締役	2018 年度進学教室サピックス塾内教材『デイリーサピックス小学 5 年社会 540-27「応仁の乱と一揆の発生』」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒 1 展示室 足駄屋の食事	3月29日
53	日本文教出版株式会社取締役編集部長	小学校社会科教科書「小学社会 6 年上」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒 展示室 草戸千軒町遺跡調査状況(穴に備え付けられた大甕) 重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 石鍋・灰釉鉢	3月31日
54	有限会社ビデオライフ代表取締役	「三江線・記憶の記録」DVD で使用	写真原版 (デジタルデータ)	船佐駅	3月30日

平成 30 年度事業の概要

1 展 示

(1) 常設展示

ア 通史展示室「瀬戸内の歴史をたどる」

前年度から変更なし。

イ 草戸千軒展示室「よみがえる草戸千軒」

草戸千軒 展示室のリニューアル工事・近世文化展示室の開室に伴い、草戸千軒展示室に改称。

ウ 近世文化展示室「菅茶山の世界」

平成 26 年に重要文化財に指定された「菅茶山関係資料」を始めとする「黄葉夕陽文庫資料」を常設展示する。資料保護のため、2 か月ごとに展示替えを行う。

(ア) 通年展示 菅茶山 - 菅君詩を以て世に鳴る - , 廉塾 菅茶山の教育拠点

(イ) 特集展示

回数	会期	特集テーマ	主担当者
1	平成 30 年 10 月 12 日～12 月 9 日	忘れられぬ交遊	岡野 将士
2	平成 30 年 12 月 13 日～平成 31 年 2 月 3 日	茶山が収集したモノ	岡野 将士
3	平成 31 年 2 月 9 日～4 月 7 日	茶山と白河藩	岡野 将士

(2) ミニ展示

当館の通史展示室にミニ展示スペースを設け、広島県の歴史を深く掘り下げた展示を、約 2 か月の会期で行う。

第 1 回 「中世文書を読む(8)」

期 間： 3 月 23 日(金)～5 月 24 日(木)

趣 旨： 当館所蔵の児玉家文書の中から、毛利輝元の書状を展示し、この文書を読み解く過程と謎解きの楽しさを紹介する。

展示資料： 天正 14 年(1586) 6 月 23 日付け毛利輝元書状(児玉塩法師宛て)

担 当： 木村信幸

第 2 回 「明治 150 年記念(1) 錦絵に見る明治の国会」

期 間： 5 月 25 日(金)～7 月 26 日(木)

趣 旨： 平成 30 年(2018)は、明治元年(1868)から起算して満 150 年の年に当たる。

日本政府は、「明治 150 年」をきっかけとして、明治以降の歩みを次世代に遺すことや、明治の精神に学び日本の強みを再認識することが重要であると考え、「明治 150 年」に関連する施策の推進を呼びかけた。当館はこれに賛同して、2 回のミニ展示を行うこととし、本展を第 1 回目として、国会議事堂などが描かれた錦絵を基に、近代の国会について紹介する。

展示資料： 錦絵 憲法発布略図、伊藤博文公憲法修正稿本(複製)、錦絵 国会会議之図、

錦絵 帝国議会衆議院之図、THE JAPANESE PARLIAMENT、錦絵 大日本帝国国会仮議事堂之図、

帝国議会第一次仮議事堂之図、帝国議会仮議事堂新築之図

担 当： 石橋健太郎

第3回 「明治 150 記念(2) 自由民権運動とオッペケペー節」

期 間： 7月27日(金)～9月27日(木)

趣 旨： 平成 30 年(2018)は、明治元年(1868)から起算して満 150 年の年に当たる。

日本政府は、「明治 150 年」をきっかけとして、明治以降の歩みを次世代に遺すことや、明治の精神に学び日本の強みを再認識することが重要であると考え、「明治 150 年」に関連する施策の推進を呼びかけた。当館はこれに賛同して、2 回のミニ展示を行うこととし、本展を第 2 回目として、政治結社が出版した雑誌や政治を批判した錦絵、オッペケペー節を素材として、明治時代の自由民権運動をとりあげる。

展示資料： 錦絵 空中夢想出雲の集会、錦絵大熊及び海坊主退治、共存雑誌、土陽雑誌、草莽事情ほか

担 当： 石橋健太郎

第4回 「草戸千軒町遺跡出土の石造物」

期 間： 9月28日(金)～11月22日(木)

趣 旨： 当館では、平成 28 年から、当館所蔵の考古資料の整理を担当する考古ボランティアと共に、草戸千軒町遺跡から出土した石造物の再整理を行っている。

石造物には、石塔や石仏など様々な種類のものがあるが、展示では遺跡から一番多く見つかった五輪塔や宝篋印塔など、墓石や供養塔などとして使われた石塔類の出土状況を紹介するとともに、墓石としての役割を終え溝の護岸や池の埋め戻しに使われた五輪塔・宝篋印塔を展示する。

また、五輪塔の石材に注目し、石材の流通や石の加工に従事した石工の活動について知る手掛かりとなることを紹介し、草戸千軒町遺跡出土遺物の新たな魅力を伝える展示とする。

展示資料： 重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品

五輪塔 空風輪 1 点、空輪 2 点、火輪 1 点、水輪 1 点

宝篋印塔 笠 1 点

草戸千軒町遺跡出土遺物

五輪塔 火輪 2 点、水輪 2 点、地輪 1 点

担 当： 尾崎光伸

第5回 「中世文書を読む(9)」

期 間： 11月23日(金・祝)～平成 31 年 1 月 24 日(木)

趣 旨： 当館所蔵の児玉家文書の中から、毛利輝元の書状を展示し、この文書を読み解く過程と謎解きの楽しさを紹介する。

展示資料： 天正 11 年(1583) 9 月 11 日付け毛利輝元書状(児玉四郎兵衛尉宛て)

担 当： 木村信幸

第6回 「斉藤芳克コレクションの近世絵画」

期 間： 平成 31 年 1 月 25 日(金)～3月21日(木・祝)

趣 旨： 平成 29 年度に寄贈された斉藤芳克コレクションの資料を紹介する 2 回目の展示会。

当館が所蔵する同コレクションは、音響・通信関係資料、近世絵画資料、近世陶磁器、考古資料など多岐にわたる。昨年度ミニ展示で紹介した蓄音機に続き、今回は近世絵画のうち、大津絵と浮世絵(版画)を紹介する。

- 展示資料：・ 大津絵「鬼の念仏」1点、「瓢箪鯨」1点、「青面金剛」1点
・ 浮世絵 歌川国芳「荷宝蔵壁のむだ書」1点、歌川豊国「芳流閣の決闘の図」3点、
無款「浮絵 芝居小屋之図」2点

担 当： 久下実

(3) 企画展示

ア 企画展 守屋壽古地図コレクション完成記念・伊能忠敬没後 200 年

「初公開！ 世界を驚かせた日本人の地図づくり 行基図から伊能図まで」

期 間： 7月19日(木)～9月24日(月・休)

趣 旨： 当館寄託の日本最大級の古地図コレクション「守屋壽コレクション」の第3回目の展示会。

今回は、新発見の伊能忠敬の日本地図など幕府の日本地図を中心に、地図づくりの進歩の様子を、コレクションに新たに加わった資料を交えて紹介する。併せて、県内には他に例がない安芸国絵図や備後国絵図のほか、広島城・福山城下の古地図も紹介。県民が江戸時代の地図の魅力に親しむ機会を提供する。その上で、江戸時代の地図づくりが、時代を生きる人々に利用され、一方で人々の暮らしを支えていた様子を紹介する。

主 催： 広島県立歴史博物館

共 催： 中国新聞備後本社、中国放送

後 援： 福山市、福山市教育委員会、福山商工会議所、広島経済同友会福山支部、一般社団法人福山青年会議所、一般社団法人広島県観光連盟、エフエムふくやま、尾道エフエム放送

料 金： 一般700円(560円)、高・大学生520円(410円)、小・中学生350円(280円)

()は前売りと20名以上の団体

入館者数： 12,626人

行 事： ・ 開催記念講演会 (博物館大学第2回)

開催日：7月21日(土)

演 題：江戸時代の測量と地図づくり

講 師：川村 博忠(元山口大学教授)

参加者数：191人

・ 開催記念講演会 (博物館大学第3回)

開催日：8月11日(土・祝)

演 題：地図が支えた江戸時代

講 師：上杉 和央(京都府立大学准教授)

参加者数：137人

・ 開催記念講演会

開催日：9月22日(土)

演 題：江戸時代の地図の発展と新出の伊能図

講 師：久下 実

参加者数：140人

・ 展示解説会

第274回 7月22日(日) 解説者：久下実

第275回 8月5日(日) 解説者：久下実

平成 30 年度事業の概要

第 276 回 8 月 26 日(日) 解説者：久下実

第 277 回 9 月 23 日(日・祝) 解説者：久下実

参加者数：156 人

その他：・ 体験イベント「伊能忠敬の測量を体験しよう」

伊能忠敬の測量方法等の解説パネルと簡易な測量体験を行う。

・ パネル展示「箱田良助について」

地元の出身で、伊能忠敬の弟子となり 7 次～10 次測量にも参加した箱田良助について、パネルで紹介する。

担 当： 久下 実

イ 全国巡回展 「発掘された日本列島 2018」

期 間： 11 月 14 日(水)～12 月 24 日(月・休)

趣 旨： 「発掘された日本列島」展は、全国で行われている発掘調査の成果を公開することにより、国民が埋蔵文化財に親しみ、その保護の重要性に関する理解を深めることを目的として、文化庁主催のもとに毎年開催されてきた。また全国を巡回することにより、より多くの国民にその機会を提供してきた。本県での開催は、平成 14 年度以来、16 年ぶりである。

企画展「発掘された日本列島 2018」は、第 1 章「新発見考古速報」と第 2 章「ひろしま考古速報」で構成する。第 1 章では、全国で行われた発掘調査の中から最新の成果を公開する。旧石器時代から近代までの遺跡とその出土遺物を時代ごとに 7 部に分けて紹介し、我が国の歴史と文化への関心と理解を深める内容とする。また、特集として装飾古墳の発掘調査・研究の成果について、写真パネル等で紹介する。第 2 章では、本県で行われた近年の発掘調査・研究の成果を公開する。縄文時代から近代までの遺跡とその出土遺物を時代ごとに 7 部に分け、これまでの発掘調査・研究の歩みと併せて紹介する。

本展示会を開催することにより、先人たちの歩みや息吹を伝える埋蔵文化財をとおして我が国と郷土の歴史を学習する機会を県民に提供する。また、普段見ることのできない県内の貴重な埋蔵文化財や発掘調査・研究の成果に触れることで、郷土への愛着を深める展示とする。

主 催： 文化庁，広島県立歴史博物館，中国新聞備後本社，全国新聞社事業協議会

協 力： 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会，全国埋蔵文化財法人連絡協議会，公益財団法人元興寺文化財研究所，共同通信社，公益財団法人広島県教育事業団，福山市立大学

後 援： 全国史跡整備市町村協議会，福山市，福山市教育委員会，福山商工会議所，広島経済同友会福山支部，一般社団法人福山青年会議所，一般社団法人広島県観光連盟，エフエムふくやま，尾道エフエム放送

料 金： 一般700円(560円)，高・大学生520円(410円)，小・中学生350円(280円)

()は 20 名以上の団体

関連展示： 地域展「新発見・再発見 ひろしま考古学最前線」

入館者数： 3,398 人

行 事：・ 開催記念講演会 (博物館大学第 5 回)

開催日：11 月 17 日(土)

演 題：「発掘された日本列島 2018」展の見どころ

講 師：川畑 純(文化庁文部科学技官)

参加者数：141 人

- ・ 開催記念講演会（考古学講座第 1 回）
開催日：11 月 24 日（土）
演 題：新発見ひろしま考古速報
講 師：尾崎 光伸
参加者数：74 人
- ・ 開催記念講演会（考古学講座第 2 回）
開催日：12 月 1 日（土）
演 題：最近発掘調査された古墳の報告
講 師：瀧岡 大輔（NPO 法人広島文化財センター調査員）
参加者数：97 人
- ・ 開催記念講演会（考古学講座第 3 回）
開催日：12 月 8 日（土）
演 題：副葬品から読み解く古墳時代の王権と地域 武装具の副葬が表すもの
講 師：橋本 達也（鹿児島大学総合研究博物館教授）
参加者数：120 人
- ・ 展示解説会
第 280 回 11 月 18 日（日） 解説者：尾崎 光伸
第 281 回 12 月 2 日（日） 解説者：尾崎 光伸
第 282 回 12 月 16 日（日） 解説者：尾崎 光伸
参加者数：65 人

担 当： 尾崎光伸

(4) 部門展示等

ア 春の展示「広島ものづくり」

期 間： 4 月 20 日（金）～ 6 月 3 日（日）

趣 旨： 広島県内では、地域の気候や風土に合った伝統産業が盛んに行われ、人々の生活の中で重要な役割を果たしてきた。熊野筆や備後絣などは全国的にも知られている。

今回の展示では、県内でも特に備後地方の南部で生まれ、当館がこれまで調査研究を進めてきた塩、備後絣、備後表を始め、県内における経済産業大臣指定伝統的工芸品や広島県指定伝統的工芸品など現在に生きる広島のものづくりを紹介する。

主 催： 広島県立歴史博物館

後 援： 福山市、福山市教育委員会、エフエムふくやま

行 事： ・ 開催記念講演会（博物館大学第 1 回）

開催日：5 月 12 日（土）

演 題：広島伝統工芸品 継承への取組

講 師：伊藤 奈保子（広島大学大学院准教授）

参加者数：109 人

- ・ 開催記念ワークショップ「金箔貼り体験」

開催日：4 月 28 日（土）

講 師：蓮池 稔（蓮池うるし工芸有限会社 代表取締役）

対 象：小中学生

参加者数：24 人

・ 展示解説会

第 272 回 4 月 29 日（日・祝） 解説者：石橋健太郎

第 273 回 5 月 27 日（日） 解説者：石橋健太郎

参加者数：28 人

担 当：石橋健太郎

イ 秋の展示「過去を知る・未来へ伝える 文化財の保存と修理」

期 間： 10 月 12 日（金）～11 月 4 日（日）

趣 旨： 博物館の使命の一つとして、文化財の保存がある。当館においても国の重要文化財である「広島県草戸千軒町遺跡出土品」・「菅茶山関係資料」の保存修理事業を継続的に行い、保存に万全を期している。

保存修理は、未来へ伝えるための処置であるとともに、その資料の歴史を解明する貴重な機会でもある。保存修理が行われた「よみがえった資料」の展示を通じて、保存修理の意義や博物館活動への理解を深める機会とする。

主 催： 広島県立歴史博物館

後 援： 福山市、福山市教育委員会、尾道市教育委員会、エフエムふくやま、尾道エフエム放送

行 事： ・ 開催記念講演会（博物館大学第 4 回）

開 催 日：10 月 13 日（土）

演 題：文化財の保存修理 菅茶山関係資料を中心に

講 師：大菅 直（株式会社光影堂代表取締役）

参加者数：77 人

・ 展示解説会

第 278 回 10 月 14 日（日） 解説者：岡野 将士

第 279 回 10 月 28 日（日） 解説者：岡野 将士

参加者数：37 人

担 当：下津間康夫，岡野将士，伊藤大輔，石橋健太郎

ウ 早春の展示「小学校の教科書のあゆみ 教科書の歴史に見る近現代の姿」

期 間： 1 月 2 日（水）～3 月 31 日（日）

趣 旨： 平成 29 年 3 月、「主体的・対話的で深い学び」を重視した新たな小学校・中学校の新学習指導要領を公示した。本県では平成 26 年から「学びの変革」を掲げ、新しい時代の変化に対応した教育を進めている。平成 30 年前後は、まさに学校教育を取り巻く環境が大きく変ろうとしている時期と言える。

そのような中、近代的な学校制度の下で、どのような内容・方法で子供たちに教育が行われてきたのかを見つめ直す機会として、小学校の教科書に絞ってその変遷を、近現代史の国内外の動向に照らしながらたどる展示会を企画した。特に家族連れの来館者に、学校での学びへの関心を高める機会を提供するものとした。

平成 30 年度事業の概要

なお、当館では平成 19 年度に近世の教育を扱った展示会(企画展「学びの発見」)を開催しており、教育史を扱う展示としては今回が約 10 年ぶりとなる。

主 催： 広島県立歴史博物館

後 援： 福山市，福山市教育委員会，エフエムふくやま，エフエムおのみち

行 事：・ 開催記念講演会

開 催 日：2月9日(土)

演 題：「社会科」の誕生とあゆみ

講 師：小原 友行(広島大学名誉教授・福山大学教授)

参加者数：60人

・ 展示解説会

第 283 回 1月2日(水) 解説者：久下 実

第 284 回 1月3日(木) 解説者：久下 実

第 285 回 2月10日(日) 解説者：久下 実

第 284 回 3月17日(日) 解説者：久下 実

参加者数：38人

担 当：尾崎 光伸

2 調査研究

博物館では、草戸千軒町遺跡を中心とした瀬戸内地域及び広島県の歴史と文化に関する調査研究を進め、資料を系統的に収集・整理・活用し、教育・文化及び学術の振興を図っている。

(1) 総合研究

一つのテーマについて、考古・歴史・民俗・美術工芸の各分野が連携して、総合的な研究を行うものである。

ア 黄葉夕陽文庫資料の基礎調査と研究

趣 旨： 当館が所蔵する「黄葉夕陽文庫資料」について、カード作成などの資料整理事業を実施するとともに、重要文化財「菅茶山関係資料」と合わせて、より多角的に調査・研究を進め、その成果を展示その他の事業によって博物館利用者に分かりやすく提供できるよう整理し、資料目録の刊行など早期の全容公開を図る。

内 容： ・ 黄葉夕陽文庫資料整理事業運営協議会を開催し、資料整理や活用等の方針について協議した。

実施日：平成 31 年 3 月 27 日（水）

指導者：頼 祺一（広島大学名誉教授）・岡部幹彦（元文化庁主任文化財調査官）

・ 未指定の「黄葉夕陽文庫資料」について、指定品との関連付けを継続実施中。

・ 廉塾の土蔵に残されていた書画類・器物類の整理作業を継続して進め、その成果を来年度の春の展示で公開する。

イ 総合調査「芦田川下流域の中世」

趣 旨： 草戸千軒町遺跡の調査研究成果を、芦田川下流域を中心とする福山湾岸全体の中世史に位置付けるため、関連する資料の分析を進める。

内 容： 草戸千軒町遺跡の調査研究成果を瀬戸内海地域の歴史に位置付けるために設置している通史展示室の、中世コーナーの史料についての解説を 3 年計画で見直すこととした。第 2 年目は、文明 17 年(1485)浄土寺領檀田村百姓等連署起請文及び応長元年(1311)為替(反古裏経紙背)を対象とし、翻刻文、現代語訳及び解説文を付した。

ウ 草戸千軒町遺跡に関する調査研究

趣 旨： 当館が保管する草戸千軒町遺跡出土資料は、長期間に及ぶ中世の生活の様子を具体的にうかがうことができることから、我が国の歴史研究にとって極めて価値が高い。しかし、発掘調査報告に掲載されているものは僅少であることから、引き続き、その他の数十万点に及ぶ膨大な資料の分析・研究を進め、その成果を中世史研究に役立てるとともに、博物館において展示などの学習支援活動で公開・活用する。

内 容： ・ 平成 8 年度から資料の種別ごとに調査研究報告を刊行している。平成 30 年度は、椀・杯・皿類の整理を行うとともに、考古ボランティアの活動として石塔類整理を行った。

・ 草戸千軒町遺跡出土遺物整理指導委員会を設置し、資料整理や活用等の方針について協議した。

開催日：平成 31 年 3 月 1 日（金）

委 員：松下 正司（比治山大学名誉教授）、本多 博之（広島大学大学院教授）、鈴木 康之（県立広島大学准教授）、佐藤昭嗣（元岡山商科大学教授）

(2) テーマ研究

研究分野や調査地域にテーマをしぼって調査研究を進めるもので、その成果は次年度以降の展示などで公表する。

ア 浮世絵展

趣 旨： 浮世絵は、17 世紀後半に成立し、江戸を中心とする大衆メディアとして広く庶民に愛され、日本を代表する伝統芸術の一つとなっている。海外でも高く評価され、国内外で様々に取り上げられ、年々その人気が高まっている。

平成 30 年度に行われる近世資料を展示するためのリニューアルも踏まえ、また開館 30 周年を記念して当館の新たな魅力を発信することにより、従来とは異なる関心を持った来館者を開拓することを目的とし、近世民衆文化の一端としての「浮世絵」を紹介する展示のための調査研究を行う。

内 容： 葛飾北斎の浮世絵の調査

担 当： 石橋健太郎

イ まるごと草戸千軒展

趣 旨： 開館 30 周年を迎えるに当たり、当館の展示・収蔵資料・研究の根幹となる草戸千軒町遺跡の 30 年間の研究成果を取りまとめる。また、他県で進む中世遺跡研究から見た草戸千軒町遺跡の意義についてその成果を広く公開することにより、県民に対し当館設置の経緯や意義を広めるとともに、常設展示室をはじめとする当館展示の魅力の再発見につながるような展示会とする。さらに、水野勝成入封 400 年記念事業と関連する展示会となるよう、神辺城についても調査研究を行う。

内 容： 草戸千軒町遺跡の 30 年の調査研究の成果、神辺城城中心品などの調査研究。

担 当： 尾崎 光伸

(3) 保存処理、保存修理

博物館が取り扱う多様な材質でできた様々な資料を、それぞれの特性に応じた適切な保存方法を考案・研究し、資料の永久保存と活用を図るものである。重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」及び未指定の草戸千軒町出土資料の保存処理並びに重要文化財「菅茶山関係資料」の保存修理を、国庫補助事業として行った。

ア 重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」

重要文化財に指定された 2,930 点について、保存と活用を図るために、早急な処理が必要な資料から保存処理を行う。平成 30 年度は、第 5 期 5 か年計画の 4 年目に当たり、木製品・金属製品・漆器について、国庫補助金を得て解体・復元・修理を行った。

対 象：木製品 1 点（籠、2 年計画）、金属製品 2 点（飾金具・鎌）及び漆器 1 点（椀）

処理方法：樹脂含浸処理及び専用支持台製作（飾金具・漆器椀）

担 当：尾崎光伸

イ 草戸千軒町遺跡出土資料

重要文化財に指定されていない草戸千軒町遺跡出土資料のうち、第 4 次～第 6 次調査で出土した鉄製品について、国庫補助金を得て保存処理を行った。

対 象：鉄製品 150 点

処理方法：セスキ炭酸ナトリウム水溶液による脱塩の後、パラロイド NAD-10V による樹脂含浸処理

担 当：尾崎光伸

ウ 重要文化財「菅茶山関係資料」

作成後 200 年以上経過し全般的に劣化が進んでいるため、保存・活用が困難なものが多く、特に書画類は早急な措置が必要である。そこで、保存・活用の観点から緊急度の高い資料から順次計画的に保存修理を実施する。平成 29 年度は、第 5 期 5 年計画の 4 年目で、書画類 3 点の保存修理を行い、より安定した状態で保管するための保存箱を製作した。

対 象：頼杏坪・山陽詩歌巻，梅水仙図，求賢図 計 3 点

修理方法：本紙の修復，表装裂の取り替え，保存箱の新調

担 当：岡野将士

(4) 研修・研究会等**ア 研修会・研究会等への参加**

名称	開催日	主催	会場	参加者
初任（前期）研修	4月9日～13日	自治総合研修センター	自治総合研修センター	森本直人
初任（前期）研修	4月11日～17日	自治総合研修センター	自治総合研修センター	伊藤大輔
初任者研修	5月14日	教育センター	教育センター	伊藤大輔 森本直人
公開承認施設担当者会議	6月20日	文化庁	文部科学省第二講堂	森本直人
国宝・重要文化財（美術工芸品） 防災・防犯対策研修会	6月21日	文化庁	文部科学省第二講堂	森本直人
「古墳時代の玉類」第8回研究集会	7月10日～11日	古代歴史文化協議会	江戸東京博物館	尾崎光伸
第2期初任者研修	8月10日	教育センター	教育センター	伊藤大輔 森本直人
ミュージアム・エドゥケーター研修 前期	9月19日～21日	文化庁	東京都美術館	尾崎光伸
IP セミナー	10月24日	九州国立博物館	九州国立博物館	石橋健太郎 伊藤大輔
広島県歴史民俗資料館等連絡協議会 総会，研究会	2月5日	広島県歴史民俗資料館等連絡協議会	東広島市役所	橋本愛子 岡野将士 久下 実 伊藤大輔 石橋健太郎
ミュージアム・エドゥケーター研修 後期	2月7日～8日	文化庁	葛飾区郷土と天文の博物館	尾崎光伸
神奈川大学古文書修復実習	3月10日～11日	神奈川大学日本常民文化研究所	神奈川大学日本常民文化研究所	久下 実

3 資料の収集・保管

展示・調査研究などの目的のため、考古・歴史・民俗・美術工芸等に関する資料を、実物資料・複製・模型等の形態で収集・保管している。

(1) 実物資料

ア 実物資料点数

	考古	歴史	民俗	美工	その他	計
平成 29 年度までの分	22,967	15,634	2,914	146	37	41,698
平成 30 年度分	0	51	217	3	2	273
合計	22,967	15,685	3,131	149	39	41,971

イ 収集資料等一覧

分野	資料名	点数	収集形態	備考
その他	国宝明王院本堂 1 /26 模型	1 点	寄附	
その他	国宝明王院五重塔 1 /26 模型	1 点	寄附	
歴史	日東第一瀬戸内の仙境 鞆の浦風景	5 点	寄附	
歴史	日東第一瀬戸内の仙境 鞆の浦風景	5 点	寄附	
歴史	特選ふくやま名所絵葉書	11 点	寄附	
歴史	日東第一瀬戸内の仙境 鞆の浦風景	10 点	寄附	
民俗	緋資料	217 点	寄附	
歴史	蘭図 菅茶山賛	1 点	寄附	
歴史	小禽図 藤井松林筆	1 点	寄附	
歴史	白椿図 藤井松林筆	1 点	寄附	
歴史	後赤壁図賛 春琴散人筆・頼山陽筆	2 点	寄附	
美工	平田玉蘊画 風俗図屏風(六曲一双)	1 点	寄附	
歴史	守屋壽コレクション 追加	15 点	寄託	
美工	広島県重要文化財 木造真教上人坐像	1 点	寄託	
美工	広島県重要文化財 木造阿弥陀如来立像	1 点	寄託	

(2) 製作資料

ア 製作資料点数

	考古	歴史	民俗	美工	その他	計
平成 29 年度までの分	46,215	100	36	11	15	46,377
平成 30 年度分	0	0	0	0	4	4
合計	46,215	100	36	11	19	46,381

イ 製作資料一覧

分野	資料名	点数	収集形態	備考
その他	着用体験用衣装 狩衣・指貫・単	1 組	寄附	広島県立海田高等学校家政科生徒製作
その他	着用体験用衣装 五衣小袷	1 着	寄附	広島県立海田高等学校家政科生徒製作
その他	着用体験用衣装 袷	2 着	寄附	広島県立海田高等学校家政科生徒製作

(3) 映像資料

ア 映像資料本数

	16ミリ	ビデオ・DVD	レーザーディスク	スライド	その他	計
平成 29 年度までの分	34	28	13	9	1	85
平成 30 年度分	0	0	0	0	0	0
合計	34	28	13	9	0	85

(4) 図書資料

当館が収蔵している図書資料は、考古・歴史・民俗・美術工芸等に関する書籍、歴史・文化財関係の雑誌、全国各地の発掘調査報告書、他の博物館・資料館等で開催された展覧会の図録、研究機関発行の機関誌など多岐にわたるが、当館の歴史博物館としての性格上、その多くが研究分野の図書である。

収集方法は、購入・寄贈・寄附に大別される。寄贈図書は当館刊行物との交換で他館から贈られる図書資料であり、寄附図書は寄附行為により当館に寄せられた図書である。当館では図書の貸出しは行っていないが、1階に図書室を設けているので、入館者は配架されている図書を見ることができる。

現在までに収蔵、登録処理の完了した図書資料数は、次のとおりである。

ア 収蔵図書資料数（単位：冊）

	購入	寄贈	寄附	計
平成29年度までの分	13,109	89,538	31,278	133,925
平成30年度分	106	1,808	0	1,914
合計	13,215	91,346	31,278	135,839

4 学習支援

学習支援とは、郷土の歴史や文化等について県民が自ら学ぶ機会を提供し、当館職員及び外部講師がその活動を支援するものである。

(1) 講演会等

当館が主催・共催した講演会等は、次のとおりである。

ア 講演会

(計 24 回)

実施日	区分	演題	講演者	参加人数
5月12日(土)	春の展示開催記念講演会 博物館大学	広島伝統工芸品 継承への 取組	広島大学大学院 准教授 伊藤奈保子	109人
5月13日(日)	友の会サロントーク	葛原しげるの童謡	元神辺公民館館長 佐々木龍三郎	25人
6月2日(土)	友の会共催文化講演会	古代山陽道と備後国分寺	広島大学名誉教授 西別府元日	135人
7月21日(土)	企画展開催記念講演会 博物館大学	江戸時代の測量と地図づくり	元山口大学教授 川村博忠	191人
7月28日(土)	備陽史探訪の会共催公開 講座	鞆の浦の社寺建築について	広島大学総合博物館 学芸職員 佐藤大規	人
8月11日 (土・祝)	企画展開催記念講演会 博物館大学	地図が支えた江戸時代	京都府立大学 准教授 上杉和央	137人
8月25日(土)	備陽史探訪の会共催公開 講座	天文日記に見る石山本願寺と 備後地方	備陽史探訪の会 会長 田口義之	人
9月22日(土)	企画展開催記念講演会	江戸時代の地図の発展と新出 の伊能図	当館主任学芸員 久下 実	140人
9月29日(土)	平山郁夫美術館共催 平山郁夫文化財セミナー	篠山紀信と平山郁夫のシルク ロード	平山郁夫美術館 シルクロード特任研究員 松崎 哲	38人
10月13日(土)	秋の展示開催記念講演会 博物館大学	文化財の保存修理 菅茶山関 係資料を中心に	株式会社光影堂 代表取締役 大菅 直	77人
11月17日(土)	全国巡回展開催記念講演 会 ・博物館大学	「発掘された日本列島2018」展 の見どころ	文化庁 文部科学技官 川畑 純	141人
11月24日(土)	全国巡回展開催記念講演 会 ・考古学講座	新発見ひろしま考古速報	当館主任学芸員 尾崎光伸	74人
12月1日(土)	全国巡回展開催記念講演 会 ・考古学講座 ・芸 備友の会共催	最近発掘調査された古墳の報 告	NPO法人 広島文化財センター調査員 濱岡大輔	97人
12月8日(土)	全国巡回展開催記念講演 会 ・考古学講座	副葬品から読み解く古墳時代 の王権と地域 武装具の副葬 が表すもの	鹿児島大学総合研究博物館 教授 橋本達也	120人
1月26日(土)	考古学講座	古墳時代の玉飾り	当館主任学芸員 尾崎光伸	52人
2月9日(土)	早春の展示開催記念講演 会	「社会科」の誕生とあゆみ	広島大学名誉教授・ 福山大学教授 小原友行	60人
2月23日(土)	友の会共催文化講演会 考古学講座	広島県の古墳の研究で最近分 かったこと	広島大学名誉教授 古瀬清秀	132人

イ 博物館大学(企画展開催記念講演会と兼ねて実施。)

(計 5 回)

実施日	演 題	講師	参加人数
5月12日(土)	広島伝統工芸品 継承への取組	広島大学大学院 准教授 伊藤奈保子	109人
7月21日(土)	江戸時代の測量と地図づくり	元山口大学教授 川村博忠	191人
8月11日 (土・祝)	地図が支えた江戸時代	京都府立大学 准教授 上杉和央	137人

平成 30 年度事業の概要

10月13日(土)	文化財の保存修理 菅茶山関係資料を中心に	株式会社光影堂 代表取締役 大菅 直	77人
11月17日(土)	「発掘された日本列島2018」展の見どころ	文化庁 文部科学技官 川畑 純	141人

ウ 考古学講座

(計3回)

開催日	テーマ	講師	参加人数
11月24日(土)	新発見ひろしま考古速報	当館主任学芸員 尾崎光伸	74人
12月1日(土)	最近発掘調査された古墳の報告	NPO法人 広島文化財センター調査員 濱岡大輔	97人
12月8日(土)	副葬品から読み解く古墳時代の王権と地域 武装 具の副葬が表すもの	鹿児島大学総合研究博物館 教授 橋本達也	120人
1月26日(土)	古墳時代の玉飾り	当館主任学芸員 尾崎光伸	52人
2月23日(土)	広島県の古墳の研究で最近分かったこと	広島大学名誉教授 古瀬清秀	132人

エ その他

実施日	区分	実施者	参加人数
4月28日(土)	春の展示関連ワークショップ「金箔貼り体験」	蓮池うるし工芸有限会社 代表取締役 蓮池 稔	24人
6月3日(日)	春の展示関連行事「福山琴演奏会」	福山市立樹徳小学校琴クラブ 筑紫若菜会, 筑紫ひなづる会 都山流尺八竹友会	163人
1月5日(土)	ひろしま文化振興財団福山分室共催「雅楽演奏会」	宮内雅楽同好会	200人

(2) 他機関主催講演会等講師

他機関が主催する講演会・講座等の講師を務めた。

(計20回)

講演会名	主催	開催日	会場	演題等	講演者
放送大学 入学 者のつどい	放送大学広島学習セ ンター	4月1日 (日)	福山サテライトス ペース	博物館利用説明	木村信幸
竹原頼山陽顕彰 会総会講演会	竹原頼山陽顕彰会	4月21日 (土)	竹原市 大広苑	菅茶山と頼山陽	岡野将士
ふどきの丘 春まつり	広島県立歴史民俗資 料館	5月13日 (日)	みよし風土記の丘	中世衣装・貝合わせなど体験教 室	石橋健太郎 橋本愛子
JFEフェスタ	JFE西日本	5月13日 (日)	JFE西日本	土器パズルなど体験教室	久下 実 森本直人
史跡ハイキング	北広島町教育委員会	5月20日 (日)	史跡吉川氏城館跡 小倉山城跡	小倉山城跡を歩く	木村信幸
初任者研修	福山東警察署	6月5日 (火)	広島県立歴史博物 館	初任者研修	伊藤大輔
あさみなみ区民 大学	広島市安佐南区役所	7月19日 (木)	広島市安佐南区民 文化センター	中世の山城	木村信幸
博物館教育論講 義	県立広島大学人間文 化学部	7月23日 (月)	県立広島大学	博物館教育論	久下 実
福山市鞆の浦歴 史民俗資料館友 の会総会講演会	福山市鞆の浦歴史民 俗資料館友の会	8月4日 (土)	福山市鞆の浦歴史 民俗資料館	足利義昭御内書について	木村信幸
特別講演会	頼山陽史跡資料館	9月15日 (土)	ホテル法華クラブ	守屋壽コレクション所収の足 利義昭御内書について	木村信幸
福山市老人大学 教養科講義	福山市老人大学	9月27日 (木)	福山市老人大学	秋の展示及び全国巡回展につ いて	岡野将士 尾崎光伸

平成 30 年度事業の概要

伊能忠敬没後 200 年記念見学 会	公益社団法人東京地 学協会	9 月 16 日 (日)	当館 廉塾, 神辺本陣, 箱田良助記念碑ほ か	企画展「初公開!世界を驚かせ た日本人の地図づくり 行基 図から伊能図まで 現地解説	加藤 謙 岡野将士 久下 実 伊藤大輔
放送大学 入学 者のつどい	放送大学広島学習セ ンター	9 月 30 日 (日)	福山サテライトス ペース	博物館利用説明	木村信幸
ふどきの丘 秋まつり	広島県立歴史民俗資 料館	10 月 14 日 (日)	みよし風土記の丘	中世衣装体験教室	石橋健太郎 細谷紗桜
府中市まなびフ ェスタ	府中市教育委員会	10 月 27 日 (土)	府中市歴史民俗資 料館	中世衣装体験	石橋健太郎 細谷紗桜
菅茶山生誕 270 年祭記念講演会	菅茶山生誕 270 年祭 実行委員会	11 月 10 日 (土)	福山市神辺文化会 館	地方の時代の象徴・菅茶山	岡野将士
人文地理学講義	福山大学人間文化学 部	11 月 14 日 (水)	福山大学	人文地理	久下 実
尾道カルチャー クラブ例会	尾道カルチャークラ ブ	11 月 24 日 (土)	グリーンヒルホテ ル尾道	守屋壽コレクション所収の足 利義昭御内書について	木村信幸
企画展「玉 - 古代 を彩る至宝 - 」連 続ミニ講座	東京都・東京都江戸 東京博物館・古代歴 史文化協議会	12 月 1 日 (土)	江戸東京博物館	古墳時代の玉類~14 県の玉文 化~	尾崎光伸
社員研修	(株)シーエム・エン 지니어リング岡山 支社	12 月 1 日 (土)	岡山市北区・シー エム・エンジニア リング岡山支社	幻の中世都市・瀬戸内の港町 「草戸千軒」	下津間康夫
初任者研修	福山東警察署	12 月 11 日 (火)	広島県立歴史博物 館	初任者研修	橋本愛子
広島県歴史民俗 資料館等連絡協 議会講演会	広島県歴史民俗資料 館等連絡協議会	2 月 5 日 (火)	東広島市役所	広島県立歴史博物館における 学校利用の現状と課題	橋本愛子
歴風トーク	広島県立歴史民俗資 料館	3 月 17 日 (日)	広島県立歴史民俗 資料館	菅茶山と廉塾	岡野将士

(3) 展示解説

ア 通常の展示解説会

(計 17 回)

実施日	区分	内容	解説者	参加人数
4 月 29 日 (日・祝)	第 272 回	春の展示「広島ものづくり 塩・備後表・備後紺・伝 統的工芸品 」	石橋健太郎	20 人
5 月 27 日 (日)	第 273 回	春の展示「広島ものづくり 塩・備後表・備後紺・伝 統的工芸品 」	石橋健太郎	8 人
7 月 22 日 (日)	第 274 回	企画展「初公開!世界を驚かせた日本人の地図づくり 行基図から伊能図まで 」	久下 実	32 人
8 月 5 日 (日)	第 275 回	企画展「初公開!世界を驚かせた日本人の地図づくり 行基図から伊能図まで 」	久下 実	54 人
8 月 26 日 (日)	第 276 回	企画展「初公開!世界を驚かせた日本人の地図づくり 行基図から伊能図まで 」	久下 実	30 人
9 月 23 日 (日)	第 277 回	企画展「初公開!世界を驚かせた日本人の地図づくり 行基図から伊能図まで 」	久下 実	40 人
10 月 14 日 (日)	第 278 回	秋の展示「過去を知る・未来へ伝える 文化財の保存 と修理 」	岡野将士	24 人
10 月 14 日 (日)	臨時	近世文化展示室「菅茶山の世界」	岡野将士	32 人
10 月 28 日 (日)	第 279 回	秋の展示「過去を知る・未来へ伝える 文化財の保存 と修理 」	岡野将士	13 人
10 月 28 日 (日)	臨時	近世文化展示室「菅茶山の世界」	岡野将士	17 人

平成 30 年度事業の概要

11月18日(日)	第280回	全国巡回展「発掘された日本列島2018」	尾崎光伸	21人
12月2日(日)	第281回	全国巡回展「発掘された日本列島2018」	尾崎光伸	24人
12月16日(日)	第282回	全国巡回展「発掘された日本列島2018」	尾崎光伸	20人
1月2日(水)	第283回	早春の展示「小学校の教科書のあゆみ 教科書の歴史に見る近現代の姿」	久下 実	3人
1月3日(木)	第284回	早春の展示「小学校の教科書のあゆみ 教科書の歴史に見る近現代の姿」	久下 実	5人
2月10日(日)	第285回	早春の展示「小学校の教科書のあゆみ 教科書の歴史に見る近現代の姿」	久下 実	18人
3月17日(日)	第286回	早春の展示「小学校の教科書のあゆみ 教科書の歴史に見る近現代の姿」	久下 実	12人

イ ミニ展示解説会

(計1回)

実施日	演題	講師	参加人数
5月19日(土)	ミニ展示「中世文書を読む (8)」	木村信幸	3人

(4) こども博物館教室

子供たちを対象として、体験しながら歴史や地域の伝統産業について学ぶ機会を提供する。

ア 夏休みだよ！こども博物館教室

(計4回)

実施日	行事名	講師	参加人数
7月28日(土)	堅豆腐を作るう	久下 実, 細谷紗桜, 森本直人, 橋本愛子	22人 (子供12人, 大人10人)
8月4日(土)	い草を織ろう	畳表技術伝承者 河内花絵 尾崎光伸, 細谷紗桜, 橋本愛子	27人 (子供12人, 大人15人)
8月5日(日)	ミニ畳を作るう	和ごころ工房 秦郁次郎, 久下 実, 伊藤大輔	41人 (子供24人, 大人17人)
8月19日(日) 7月29日(日)悪天候 により変更	藍染をしよう	けんぱくボランティアスタッフ, 石橋健太郎	28人 (子供17人, 大人11人)

イ お正月だよ！こども博物館

実施日	内容	参加人数
1月2日(水)～1月3日(木)	こままわし・はねつき・けんだま・お手玉・貝合わせ・ぬりえ・投扇興・かるた・ヨーヨー	1,087人 (子供619人, 大人468人)

(5) ボランティア育成

より多様な生涯学習の機会を設けるため、博物館業務をボランティア活動の場として提供した。登録人数 47 人。

(業務の重複あり)

ア ボランティアの活動内容等

業務区分	活動内容	活動日時	登録人数
解説	来館者に常設展示の解説を行う	毎週日曜日 10:00～15:00	14人
図書	来館者に歴史文化情報の提供を行う	毎週水曜日 10:00～15:00, 毎月第2・4土曜日	18人
備後絆資料整理	備後絆資料の整理を行う	毎月第4火曜日 10:00～15:00	5人
古文書資料整理	当館所蔵の古文書の整理を行う	毎月第2・4木曜日 10:00～15:00	3人

平成 30 年度事業の概要

考古資料整理	当館所蔵の考古資料の整理を行う	毎月第1水曜日・第3土曜日 10:00~15:00	13人
鉄道	当館所蔵の鉄道資料の整理を行う	随時	1人
その他	ワークショップなどの実施・補助等	随時	7人

(6) 学校連携

学校からの要望に応じて、各種授業、講演、職場体験学習・インターンシップの受入れを行った。

ア 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の無料団体見学

平成元年の開館から平成29年度までの状況及び30年度の状況は、次のとおりである。

区分	県内		県外		合計	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
昨年度まで	3,874	231,094	243	14,479	4,117	245,573
30年度	91	4,653	6	218	97	4,871
総合計	3,965	235,747	249	14,697	4,214	250,444

平成19年度分から幼稚園・保育所の数を含む

イ ゲストティーチャー

(計20件)

実施日	学校名・学年等	内容	派遣職員
5月10日(木)	東広島市立中黒瀬小学校6年生	修学旅行の事前学習	久下 実
5月17日(木)	福山市立川口小学校6年生	修学旅行の事前学習	橋本愛子
5月25日(金)	福山市立引野小学校6年生	修学旅行の事前学習	岡野将士
5月30日(水)	世羅町立世羅小学校6年生	修学旅行の事前学習	石橋健太郎
6月5日(火)	福山市立箕島小学校6年生	修学旅行の事前学習	橋本愛子
6月7日(木)	三次市立川地中学校2年生	茶道体験	石橋健太郎
6月8日(金)	福山市立瀬戸小学校6年生	地域学習	尾崎光伸
6月21日(木)	尾道市立美木原小学校	土器作り	加藤 謙
8月21日(火)	福山市立駅家西小学校6年生	修学旅行の事前学習	岡野将士
9月5日(水)	三原市立幸崎小学校6年生	修学旅行の事前学習	石橋健太郎
9月11日(火)	尾道市立美木原小学校6年生	修学旅行の事前学習	石橋健太郎
9月13日(水)	福山市立南小学校6年生	修学旅行の事前学習	橋本愛子
9月14日(金)	三原市立須波小学校6年生	修学旅行の事前学習	久下 実
9月18日(火)	広島県立高陽東高等学校	地域の学習	尾崎光伸
10月4日(木)	三原市立久井小学校6年生	地域の学習	尾崎光伸
10月30日(火)	尾道市立久保小学校3年生	地域の学習	橋本愛子
11月14日(水)	尾道市立向島中央小学校6年生	地域の時間	久下 実
12月4日(火)	岡山県立西備支援学校中等部2年生	火起こし	岡野将士 石橋健太郎 伊藤大輔 森本直人
12月12日(水)	英数学館小学校6年生	社会科歴史学習	尾崎光伸
2月28日(木)	庄原市立山内小学校	茶道体験	石橋健太郎

ウ 職場体験学習・インターンシップ

実施日	学校名	参加人数
8月1日(水)~8月5日(日)	県庁インターンシップ	2人
8月21日(火)~23日(木)	チャレンジウィークふくやま2018(福山市立東中学校・城西中学校・鳳中学校・中央中学校・大門中学校)	5人
9月4日(火)~8日(土)	福山大学	3人
9月19日(水)	福山北特別支援学校 高等部2年生	5人
10月2日(火)~5日(金)	広島県立広島中学校	2人
10月24日(水)	福山北特別支援学校 高等部2年生	9人

平成 30 年度事業の概要

10月24日(水)～25日(木)	近畿大学附属福山中学校	5人
11月14日(水)	福山北特別支援学校 高等部2年生	4人
12月11日(火)	福山北特別支援学校 高等部2年生	4人
12月21日(金)～24日(月)	福山平成大学	1人
1月23日(水)	福山北特別支援学校 高等部2年生	4人
3月1日(金)	福山北特別支援学校 高等部2年生	4人

エ 教員免許更新講習

実施日	参加人数
8月8日(水)	41人

オ 研修・講座等

実施日	団体名	内容	参加人数
8月8日(水)	福山市立野々浜小学校	バックヤード等見学	12人
10月12日(金)	教育センター	専門研修講座	11人

カ 博物館実習

博物館法施行規則第1条の規定に基づく大学からの受入れの要請により、実施する。

(ア) 博物館実習

期間	受入大学名	参加人数
7月25日(水)～7月31日(火)	立命館大学・徳島文理大学・神戸女子大学・福山大学・尾道市立大学・大谷大学	9人

(イ) 博物館見学実習

期日	受入大学名	参加人数
4月22日(日)	岡山大学	32人
5月12日(土)	徳島文理大学	12人
5月26日(土)	福山平成大学	10人
6月30日(土)	福山大学	11人
8月4日(土)	福山市立大学	89人
8月29日(水)	尾道市立大学	10人
10月16日(火)	福山大学(工学部)	11人
10月26日(金)	岡山商科大学	41人
11月17日(土)	県立広島大学	45人
11月24日(土)	広島大学総合博物館	37人
12月9日(日)	福山平成大学	20人
1月18日(金)	福山平成大学	14人
2月27日(水)	国学院大学	32人

(7) 出版

ア 『広島県立歴史博物館ニュース』

平成30年度の博物館の活動状況などを紹介するニュース第115号～第118号を作成した。

号数	発行日	内容	執筆者
115	6月19日	最古級の日本地図 確認か 600～700年前の「草戸千軒が栄えたころ」の日本地図 発見！ 注目は二つの「リュウキュウ」 企画展「初公開！世界を驚かせた日本人の地図づくり 行基図から伊能図まで」 ミニ展示「明治150年記念(1) 錦絵に見る明治の国会」 バーチャル・リアリティー(VR) 遣明船の運用開始について	久下 実 石橋健太郎 木村信幸

平成 30 年度事業の概要

		なぜなに相談室 昔の人が使っていた服や布の「青」の材料はなんなのだろう？ 分館情報 頼山陽史跡資料館 平成30年度の展示案内	伊藤大輔 花本哲志
116	10月5日	特集1 発掘された日本列島2018 新発見考古速報 特集2 常設展示室の一室がリニューアルオープン 特集3 秋の展示 過去を知る・未来へ伝える 文化財の修理と保存 なぜなに相談室 縄文土器にはどんな形があるの？ 注口土器は縄文土器のやかん？ 頼山陽史跡資料館企画展 「頼山陽と九州」	尾崎光伸 岡野将士 岡野将士 森本直人 花本哲志
117	12月5日	早春の展示「小学校の教科書のおゆみ 教科書の歴史に見る近現代の姿」 リニューアルオープンしました！菅茶山の世界 近世文化展示室 分館情報 謎の「耶馬溪図巻」をめくって	久下 実 岡野将士 花本哲志
118	3月14日	春の展示「初公開！廉塾に伝えられたタカラモノ 書画・陶磁器・漆器・硯等」 分館情報 全国公募「南画精華展」 海田高等学校の生徒さんから、製作された衣装が贈呈されました！	岡野将士 花本哲志

イ 調査研究

(ア) 『広島県立歴史博物館 研究紀要』 第21号 A4判, 84ページ

- ・ 国宝明王院五重塔内の木造弥勒菩薩坐像
塔内での位置付け、西大寺流律宗との関連性等について 濱田 宣
- ・ 諸口紙に関する一考察 石川 良枝
- ・ 資料紹介
守屋壽コレクション所収の足利義昭御内書について 木村 信幸
- ・ 福山市神村窯跡群出土遺物の再検討 向田 裕始

(8) 新聞・雑誌への連載

ア ビジネス情報

掲載日	内容	執筆者
4月20日	春の展示「広島ものづくり 塩・備後表・備後緋・伝統的工芸品」	石橋健太郎
5月20日	ミニ展示「明治150年記念 錦絵に見る明治の国会」	石橋健太郎
6月20日	VR遺明船 6月下旬から体験開始！	木村信幸
7月20日	ミニ展示「明治150年記念 自由民権運動とオツペケペー節」	石橋健太郎
8月20日	「初公開！世界を驚かせた日本人の地図づくり 行基図から伊能図まで」	久下 実
9月20日	秋の展示「過去を知る・未来へ伝える 文化財の保存と修理」	岡野将士
10月20日	「発掘された日本列島2018 新発見考古速報」	尾崎光伸
11月20日	「発掘された日本列島2018 新発見考古速報」	尾崎光伸
12月20日	ミニ展示「中世文書を読む (9) 毛利輝元の手紙」	木村信幸
1月20日	早春の展示「小学校の教科書のおゆみ 教科書の歴史に見る近現代の姿」	久下 実
2月20日	ミニ展示「斎藤芳克コレクションの近世絵画」	久下 実
3月20日	ミニ展示「土器を見る」	森本直人

(9) 他機関への指導

名称	開催日	主催	会場	参加者
今治市村上水軍博物館協議会	2月22日(金)	今治市教育委員会	今治市村上水軍博物館	木村信幸

(10) 広島県立歴史博物館友の会

広島県立歴史博物館友の会は、歴史・文化に関心のある人々の集まりで、当館の展示等を通して会員自らの教養を豊かにするとともに、会員相互の親睦を深め、また、当館の行う事業に協力し、地域文化の向上に寄与すること

平成 30 年度事業の概要

を目的として、平成 2 年度に設立された。会員数 150 人（平成 29 年 3 月 31 日現在）。

平成 30 年度には、次の行事・活動を行うとともに、より効率的、効果的な運営となるよう組織体制・事業内容の見直しを行い、次年度から新たな運営を開始することとした。

ア 会議等の開催

開催日	行事名
4月28日(土)ほか11回	幹事会
5月26日(土)・1月26日(土)	理事・幹事合同会議
6月1日(金)	監査
6月2日(土)	理事会
6月4日(土)	総会

イ 講演会、文化・歴史サロン、演劇等の開催

開催日	行事名	演題・内容と講師・演者	参加者
4月4日(水) ～5日(木)	宿泊研修旅行	周防大島・柳井が呼んでいる 訪問先：山口県 錦帯橋・陸奥記念館・宮本常一記念館 ほか	11人
5月13日(日)	文化・歴史サロン サロ ントーク(博物館と共催)	演題：葛原しげるの童謡 講師：佐々木龍三郎	25人
6月2日(土)	文化講演会 (博物館と共催)	演題：古代山陽道と備後国分寺 講師：広島大学名誉教授 西別府元日	135人
11月30日(金)	一日研修旅行	山田方谷ゆかりの地・備中高梁を訪ねて 訪問先：岡山県高梁市	13人
2月23日(土)	文化講演会 (博物館と共催)	演題：広島県の古墳の研究で最近分かったこと 講師：広島大学名誉教授 古瀬清秀	132人

ウ ニュース等の発行

友の会だより 206(平成30年4月28日)～209(平成31年3月23日)

エ ミュージアムショップの運営

5 利用状況

(1) 入館者数

ア 常設展

(単位:人・日)

月別	開館 日数	有料入館者数					無料入館者数					入館者 総計	1日平均
		個人(前売含む)		団体		合計	一般	留学生	小・中・高等		合計		
		一般	大学生	一般	大学生				学校行事	個人			
4	26	479	10	247	33	769	435	2	302	131	870	1,639	63
5	27	532	74	479	11	1,096	1,026	0	1,191	181	2,398	3,494	129
6	22	313	53	197	42	605	1,045	1	275	91	1,412	2,017	92
7	25	239	19	197	2	457	1,697	0	82	209	1,988	2,445	98
8	28	159	8	163	81	411	4,375	5	409	312	5,101	5,512	197
9	26	140	7	91	1	239	3,106	0	1,067	72	4,245	4,484	172
10	26	415	20	281	27	743	1,075	0	775	70	1,920	2,663	102
11	26	229	10	142	7	388	4,147	1	304	364	4,816	5,204	200
12	23	98	10	63	20	191	1,919	1	229	38	2,187	2,378	103
1	25	414	37	223	2	676	1,736	1	27	141	1,905	2,581	103
2	21	287	20	188	60	555	910	0	83	135	1,128	1,683	80
3	27	479	46	324	12	861	663	0	161	207	1,031	1,892	70
合計	302	3,784	314	2,595	298	6,991	22,134	11	4,905	1,951	29,001	35,992	119

イ 企画展・特別展

月別	開館 日数	有料入館者数							無料入館者			入館者 総計	1日平均
		個人(前売含む)			団体			合計	一般	子どもの 日・文化の日 等	合計		
		一般	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生						
7	11	569	37	105	296	3	18	1,028	582	0	582	1,610	146
8	28	2,110	154	545	1,218	38	131	4,196	2,030	0	2,030	6,226	222
9	21	1,757	71	150	958	26	46	3,008	1,782	0	1,782	4,790	228
小計	60	4,436	262	800	2,472	67	195	8,232	4,394	0	4,394	12,626	210
11	15	371	18	34	272	36	9	740	550	0	550	1,290	86
12	21	586	31	52	378	12	13	1,072	1,036	0	1,036	2,108	100
小計	36	957	49	86	650	48	22	1,812	1,586	0	1,586	3,398	94
合計	96	5,393	311	886	3,122	115	217	10,044	5,980	0	5,980	16,024	152

(2) 行事等参加者数

月別	講演会	博物館 大学	考古学 講座	展示 解説会	ミニ展示 解説会	古文書 学習会	こども 博物館 教室	学校利用 等	その他	合計
4	0			37			0	302	104	443
5	134			8	3		0	1192	379	1716
6	365			17			0	275	492	1149
7	291			104			22	82	245	744
8	269	(137)		84			96	422	475	1209
9	178			501			0	1067	295	2041
10	257	(77)		146			0	775	350	1451
11	277	(141)	(74)	59			0	304	3503	3928
12	447		(120)	44			0	229	432	1032
1	52			8			1087	27	288	1462
2	192			18			0	83	251	544
3	100			12			0	180	141	433
合計	2562			1041	3		1205	4938	6403	16152

博物館大学，考古学講座の参加者数は，講演会参加者数に含まれる。

平成 30 年度事業の概要

(3) 利用者数等総括表

年度	常設展		企画展		特別展		入館者合計	学習支援	施設利用他	合計
	日数	入館者数	日数	入館者数	日数	入館者数				
元	126	80,118	0	0	31	86,915	167,033	2,078	564	169,675
2	311	77,923	53	19,444	9	5,023	102,390	3,774	740	106,904
3	306	71,087	53	23,595	19	14,290	108,972	4,000	691	113,663
4	303	62,057	56	15,766	0	0	77,823	3,937	517	82,277
5	309	70,845	56	14,366	29	14,215	99,426	3,901	359	103,686
6	302	60,457	57	13,076	44	9,758	83,291	5,300	315	88,906
7	304	62,133	53	15,451	46	29,871	107,455	5,441	1,118	114,014
8	306	49,633	58	10,610	0	0	60,243	2,042	1,508	63,793
9	305	43,290	58	6,954	0	0	50,244	3,579	278	54,101
10	305	45,823	58	8,662	27	93,353	147,838	7,526	417	155,781
11	305	39,704	46	10,782	0	0	50,486	3,152	676	54,314
12	304	33,476	27	2,889	54	13,397	49,762	2,731	168	52,661
13	306	36,423	27	2,796	36	13,805	53,024	3,281	177	56,482
14	307	35,184	34	4,301	29	4,444	43,929	2,511	59	46,499
15	308	44,109	63	6,635	0	0	50,744	6,407	521	57,672
16	312	37,188	55	7,564	0	0	44,752	6,082	707	51,541
17	304	33,747	78	15,409	0	0	49,156	5,650	2,514	57,320
18	305	43,505	60	7,239	34	38,329	89,073	7,538	1,168	97,779
19	308	35,445	85	6,198	0	0	41,643	14,229	4,585	60,457
20	314	69,397	73	10,824	35	42,946	123,167	19,331	5,336	147,834
21	308	32,062	80	11,034	0	0	43,096	15,934	2,506	61,536
22	302	31,879	80	9,098	0	0	40,977	16,459	4,562	61,988
23	315	37,443	47	2,744	30	23,690	63,877	24,337	4,026	92,240
24	309	32,798	99	7,549	0	0	40,347	25,155	2,395	67,897
25	314	40,663	49	3,640	47	12,622	56,925	28,125	1,347	86,397
26	315	37,813	42	7,544	45	23,930	69,287	29,163	1,774	100,224
27	309	31,674	81	14,738	0	0	46,412	21,337	3,086	70,835
28	307	42,445	86	17,750	0	0	60,195	29,547	2,372	92,114
29	306	47,058	52	11,485	57	14,412	72,955	29,498	2,714	105,167
30	302	35,992	96	16,024	0	0	52,016	26,764	1,809	80,589
合計	9,037	1,401,371	1,762	304,167	572	441,000	2,146,538	358,809	49,009	2,554,346

(4) 資料の利用状況

ア 収蔵・保管資料の貸出

	貸出先	利用目的	資料名	貸出期間
1	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(平常展)での展示	伝アフリカ採集両面加工の礫器	4月1日～ 3月31日
2	歴史民俗資料館	常設展示室での展示	縄文土器(馬取遺跡出土)他 全9点	4月1日～ 3月31日
3	福山市教育委員会	常設展示における展示及び調査研究	石器(宮脇遺跡出土)他 全697点 (全て「府中高校考古資料」)	4月1日～ 3月31日
4	三原市教育委員会	常設展示における展示及び調査研究	石器(宿禰島遺跡出土)他 全51点 (全て「府中高校考古資料」)	4月1日～ 3月31日
5	国立歴史民俗博物館	常設展示室での展示	土師質土器杯(草戸千軒町遺跡出土)他 全10点	4月1日～ 3月31日
6	北九州市立自然史・歴史博物館	特別展「食のたび 箸と和食の文化史」での展示	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 まな板など計8点 草戸千軒町遺跡出土資料 箸状木製品ほか実物資料 計15点 復元食膳ほか複製資料 計3点	10月12日～ 12月19日
7	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	特別展「絵図と歴史資料で観る江戸期の鞆の津」での展示	守屋壽コレクション 万象写真図譜など計11点 黄葉夕陽文庫資料 備後国名勝鞆浦図和歌書付1点	9月19日～ 11月27日
8	萩博物館	明治維新150年記念特別展「長州ファイブ 幕末・海外留学生の軌跡」での展示	守屋壽コレクション 長門国絵図など計6点	10月9日～ 12月7日
9	頼山陽史跡資料館	企画展「頼山陽と九州」での展示	重要文化財菅茶山関係資料 耶馬溪図巻1点	7月13日～ 12月12日
10	歴史民俗資料館	秋の特別企画展「霧に包まれた古墳の謎 大王の時代と三次盆地」での展示	福山市池の内3号墳出土馬形埴輪 広島市池の内2号墳出土三又鍬 三次市三玉大塚古墳出土短甲(複製資料)	9月21日～ 12月7日
11	頼山陽史跡資料館	日本遺産登録記念特別企画「守屋壽コレクションに見る“鞆の浦”」での展示	守屋壽コレクション 足利義昭御内書など計30件(60点)	8月23日～ 12月12日
12	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	特別陳列「守屋壽コレクション新発見史料」足利義昭御内書と中村家旧蔵墨書貼交帖」での展示	守屋壽コレクション 保命酒関連詩文帖,北畠中将宛て足利義昭御内書	6月18日～ 8月20日
13	個人	福山城築城400年プレ事業「鞆の津茶会」での展示	守屋壽コレクション カルディム「Iaponiae Nova & Accurata Descriptio」1点	10月20日～ 10月21日
14	安芸高田市歴史民俗博物館	企画展「安芸穴戸氏」での展示	三原城城壁文書「某書状」1点	10月24日～ 12月18日
15	歴史民俗資料館	風土記の丘ギャラリー「明治150年記念展示 明治の国会と自由民権運動」での展示	当世新版オッペケペーなど計8点	11月21日～ 12月21日
16	頼山陽史跡資料館	頼山陽史跡資料館収蔵品展「菅茶山と頼家の人々」での展示	墨竹図(玉潁筆・菅茶山賛)など計4点	12月12日～ 2月中旬日

イ 収蔵・保管資料の閲覧

	資料名	許可日
1	二塚古墳出土乳文鏡,掛迫6号墳出土龍鏡・三角縁神獸鏡など計6点	4月25日
2	地租改正測量絵馬(複製資料),足踏式脱穀機	5月10日

平成 30 年度事業の概要

3	守屋壽コレクション 万国総図・世界人物図	6月7日
4	重要文化財菅茶山関係資料 春川釣魚図など計6点	6月22日
5	守屋壽コレクション 日本扶桑国之図	7月4日
6	訂正古訓古事記 上・中・下	7月14日
7	草戸千軒町遺跡出土資料 播鉢など計69点	8月1日・2日
8	守屋壽コレクション カルディム日本図	9月12日
9	重要文化財菅茶山関係資料 栗山堂餞筵詩画卷	9月25日
10	草戸千軒町遺跡出土資料 備前焼・常滑焼・中国陶磁器	10月4日
11	広島県重要文化財荒神古墳出土品 金銅装大刀	11月29日
12	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 毛抜きなど計39点 草戸千軒町遺跡出土資料 椀形滓 平城京木簡(複製資料)など4点	12月5日
13	守屋壽コレクション ペリー提督肖像など計8点	12月8日
14	府中高校考古資料 塚谷古墳出土遺物 12点	12月9日
15	守屋壽コレクション 南瞻部洲大日本国正統図など計6点	12月11日
16	重要文化財菅茶山関係資料 アイヌ工芸品計9点	12月13日
17	法道寺文書 芸備キリシタン史料3点	12月20日
18	重要文化財菅茶山関係資料 略歴日記など72点	1月24日
19	重要文化財菅茶山関係資料 俗楽問答など計7点	2月2日

ウ 写真原版・デジタルデータの使用

	申請者	利用目的	利用区分	資料名	許可日
1	株式会社 PHP 研究所 東京本部総括担当	月刊『歴史街道』7月号に掲載。	写真原版 (デジタルデータ)	大坂冬の陣図(城郭部分) 大坂夏の陣図	5月8日
2	株式会社吉川弘文館 編集部長	『わくわく!探検 れきはく日本の歴史 2 中世』に掲載。	写真原版 (フィルム・デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡全景 草戸千軒町遺跡 実物大復元 模型 草戸千軒町遺跡 出土遺物	5月8日
3	戎光祥出版株式会社 代表取締役	丸山裕之著『図説 室町幕府』に掲載。	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	5月8日
4	県立広島大学人間文化学部 教授	鈴木康之「草戸千軒町遺跡出土資料にみる鎌倉時代の『会所』と『唐物』」(家具道具室内史学会編『家具道具室内史研究』第10号所収)に掲載。	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡出土資料 吉州窯系鉄絵瓶子 青磁蓋	5月30日
5	株式会社同成社 代表取締役	「おとうさんとおかあさんとたのしむ考古学」(仮)に掲載。	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒町の風景	6月13日
6	個人	個人研究	その他(プリントしたもの)	赤色立体地図(府中市分)	6月20日
7	株式会社平凡社	高木久史『撰銭とビター文の戦国	写真原版	重要文化財広島県草戸千軒町	6月20日

平成 30 年度事業の概要

		史(仮)』に掲載	(デジタルデータ)	遺跡出土品 銅銭 銭塊	
8	株式会社エデュケーショナルネットワーク	「アタックテスト 小学6年2018年度 総合第9回」(小学生向け中学受験対策用テスト)に掲載	写真原版(デジタルデータ)	遺明船模型	6月20日
9	個人	薩摩藩儒赤崎源助(号海門)に関する調査・研究のため	写真原版(デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 赤崎海門五言絶句詩扇	7月15日
10	個人	放送大学卒業研究論文の資料として掲載	写真撮影 その他(HP 記載写真及び 事項の掲載 及び転載)	法隆寺龍鬘庭(復元複製)など 3点 備後表関連資料1点	7月19日
11	古代歴史文化協議会	共同調査研究事業「古墳時代の玉類」成果図書『玉 古代を彩る至宝』に掲載	写真原版(デジタルデータ)	石鎚山第1号古墳出土 玉類	7月15日
12	秋田市立秋田城跡歴史資料館 館長	企画展示に使用 常設展の特設コーナーでの展示(企画展終了後~平成31年3月31日)	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 日本扶桑国之図	7月26日
13	株式会社中国新聞社 編集局	中国新聞朝刊の特集企画「残り火のありか 32回 窪田次郎の民権運動」に掲載	写真原版(デジタルデータ)	窪田次郎の肖像画 明治初期備後自由民権運動家たち 下議員結構の議案(冒頭ページ,最終ページ)	8月8日
14	株式会社敬文舎	小学館刊『天皇はなぜ紙幣に描かれないのか 日本史の謎 30』の本文写真として掲載	写真原版(デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡(空撮)	8月3日
15	個人	公益財団法人ひろしま文化振興財団助成によるDVD「幻の町草戸千軒」制作	写真撮影	草戸千軒町遺跡第2次調査風景など	8月15日
16	個人	説明看板「草戸千軒」に転載	写真原版(デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡第2次調査風景など	8月18日
17	一般財団法人日本地図センター 理事長	月刊「地図中心」9月号に掲載。	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 日本扶桑国之図	8月10日
18	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	2018年度特別展「絵図と歴史資料で観る江戸期の鞆の津」で、図録等印刷物に掲載	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 万象写真図譜など11点 黄葉夕陽文庫資料 備後国名勝鞆浦図和歌書付1点	8月29日
19	萩博物館	特別展「長州ファイブ 幕末・海外留学生の軌跡」で、図録・ポスター・チラシなど広報媒体に掲載	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 長門国絵図など6点	8月23日
20	公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構 情報部	米穀機構ホームページ「明治150年」特設ページに掲載	写真撮影 その他(ホームページ掲載)	足踏脱穀機	8月7日
21	個人	写真撮影 その他(ホームページ掲載)	写真原版(デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 菅茶山肖像画1点 茶山先生菅君之碑 旧相馬邸蔵廉塾図	8月29日
22	株式会社 MBS 企画 東京支社	テレビ番組『林先生が驚く初耳学!』に使用	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 松浦静山識日本輿地図	8月20日

平成 30 年度事業の概要

23	鎌倉歴史文化交流館	鎌倉歴史文化交流館秋季企画展「出土漆器の美」の展示パネル及び図録に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒展示室 塗師の家・中世の食器	9月6日
24	個人	塗師の家 中世の食器	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 菅茶山肖像画〔晋帥(菅茶山)自画賛〕	9月7日
25	福山市鞆の浦歴史民俗資料館	2018年度特別陳列守屋コレクション新発見史料「足利義昭御内書と中村家旧蔵墨書貼交帖」で、広報用印刷物に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 保命酒関連漢詩文帖 北畠中将宛足利義昭御内書	6月16日
26	頼山陽史跡資料館	日本遺産登録記念特別企画「守屋壽コレクションに見る“鞆の浦”」で、チラシ・パンフレットなど広報用印刷物に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 保命酒関連漢詩文帖など計16点	8月29日
27	NHK 大阪放送局制作部	NHK番組「歴史秘話ヒストリア」の制作	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 松浦静山識日本輿地図	9月28日
28	株式会社東京堂出版代表取締役	田中健次著『図解 日本音楽史増補改訂版』本文中に参考資料として掲載。	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 琉球王宮舞楽図	9月28日
29	長野朝日放送株式会社	番組「いいね！信州スゴデカラ」での使用	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 大坂夏の陣図	10月3日
30	安芸高田市教育委員会	穴戸隆家生誕 500 年記念事業 平成 30 年度安芸高田市歴史民俗博物館秋季企画展「安芸穴戸氏」の図録等印刷物で使用	写真原版 (デジタルデータ)	三原城城壁文書「某書状」	9月28日
31	個人	博士論文に掲載	写真撮影	重要文化財菅茶山関係資料 栗山堂銭筵詩画卷	9月29日
32	北九州市立自然史・歴史博物館	特別展における展示パネル、ホームページなどの広報資料に使用	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡復元展示室 草戸千軒町遺跡周辺航空写真	9月30日
33	沖縄県教育委員会	『沖縄県史 図説編 2 前近代』(平成 31 年 3 月刊行予定)に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 日本扶桑国の図	10月5日
34	株式会社エヌ・アンド・エス企画	田代博『基礎からわかる地図の百科』(図書館向け児童書シリーズ・全4巻)「第1巻 地図の基礎を知ろう」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 日本扶桑国の図	10月5日
35	個人	NHKカルチャー福山教室「はじめての古文書・くずし字」の資料として掲載	写真撮影	重要文化財菅茶山関係資料 菅茶山遺書など14点	10月25日
36	個人	冊子「菅茶山と廉塾」に掲載。冊子は廉塾見学者の歴史学習の資料として使用。	写真撮影 写真原版	重要文化財菅茶山関係資料 黄葉夕陽村舎詩稿など計14点 近世文化展示室及び資料の展示風景 1点	10月25日
37	高知県立坂本龍馬記念館	平成 30 年度第 4 回企画展「ジョン・マンと呼ばれた男～中濱万次郎」展におけるパネル展示及び関連の小冊子・チラシ・ポスターへの掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション W.ハイネ画 ペリー肖像など2点	10月25日
38	個人	鈴木康之「中世の木材加工技術における技術革新」(国立歴史民俗博物館研究叢書 5 『中世のものづくり』(朝倉書店刊、平成 30 年度未発行予定)所収)に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡出土の手斧とその復元品など13点	11月24日
39	個人	郷土参考資料として	模写	重要文化財菅茶山関係資料	11月24日

平成 30 年度事業の概要

				風俗御問状答書	
40	公益財団法人広島県教育事業団 埋蔵文化財調査室	公益財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書第 84 集「上ノ城跡」(平成 31 年 2 月 28 日刊行予定)に掲載	その他(写真の掲載)	草戸千軒町遺跡出土資料 備前焼・常滑焼・白磁	12月12日
41	株式会社山川出版社	中学教科書への掲載のため。	転載及び写真原版	草戸千軒町遺跡復元模型など計2点	12月18日
42	島根県教育庁文化財課	島根県立古代出雲歴史博物館企画展にかかる資料調査のため	写真撮影	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 毛抜きなど計40点 平城京木簡(複製資料)など4点	12月18日
43	個人	日本爬虫両棲類学会の国際学術雑誌「Current Herpetology」に掲載	写真原版	クサガメ遺存体	12月18日
44	株式会社 PHP 研究所 第一事業制作局	月刊誌『歴史街道』2019 年 2 月号特集「決戦!大坂の陣」に掲載	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 大坂冬の陣図(城郭部分) 大坂夏の陣図	12月15日
45	個人	郷土史(近世蝦夷地と北方交流史)の研究資料として利用するとともに、自費出版に掲載	写真原版(デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 東韃紀行 蝦夷人弾琴図(不掲載)	12月22日
46	個人	近世日本対外史研究のため	写真原版(デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 琉球王宮舞楽図など17点	1月16日
47	個人	平成 30 年度「ひろしまの遺跡を語る」の発掘調査報告「鞆港湾遺跡の発掘調査」に使用。	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション ラングレン東アジア図(全体・日本附近部分)	1月16日
48	個人	調査研究及び NHK 古文書講座の資料として使用	写真撮影	福山近在名所記 菅波信道一代記 卷三十	1月26日
49	朝日新聞大阪本社生活文化部 部長	朝日新聞夕刊文化面の企画「災害考古学」及び朝日新聞デジタルに掲載。	写真原版(デジタルデータ)	草戸千軒町遺跡 発掘調査時の空撮写真	1月29日
50	株式会社 RCC フロンティア	テレビ番組「彩～日本遺産～」内で鞆の浦の歴史を紹介する際に使用	写真原版(デジタルデータ), テレビ撮影	守屋壽コレクション ラングレン東アジア図 大坂より長崎まで船路名所図	2月8日
51	株式会社朝倉書店	『国立歴史民俗博物館研究叢書第5巻 中世のモノづくり』に掲載	写真原版(デジタルデータ)	草戸千軒展示室 塗師の家	2月8日
52	個人	「伊能忠敬全国測量の諸問題」(「地学雑誌」Vol.128, 伊能忠敬特集号)に掲載	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 松浦静山旧蔵日本全図	2月11日
53	株式会社 NHK ブラネット 近畿総支社番組制作センター	テレビ番組「歴史秘話ヒストリア」(平成 31 年 2 月 27 日放送予定)にて使用	写真原版(デジタルデータ)	守屋壽コレクション 日本扶桑国之図 大坂冬の陣図 大阪夏の陣図	2月11日
54	個人	放送大学 2018 年度卒業研究論文, 広島大学文化財学伊藤研究室 HP 及び書籍(平成 31 年発行予定)に掲載	その他(図録写真スキャン)	引通表機 中継表機	2月13日
55	個人	放送大学卒業研究論文の資料として掲載	その他(図録写真スキャン), 写真撮影	甕棺から出土したムシロ 手動織実演写真	2月13日
56	株式会社淡交社	中村幸著『茶道教養講座 茶事・茶会』に本文挿図として掲載	その他(『茶道聚錦 2 茶の湯の成立』から複製写利用)	重要文化財広島県草戸千軒遺跡出土品 鬺茶札4点	2月26日

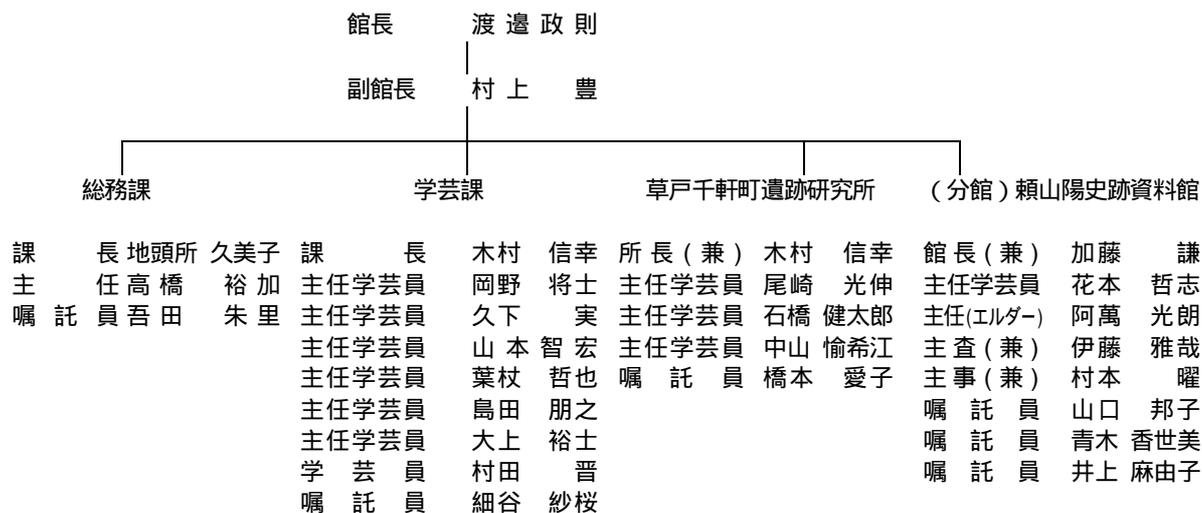
平成 30 年度事業の概要

57	一般社団法人 日本数学会	Mathematics of Takebe Katahiro and History of Mathematics in east Asia (Advanced Studies in Pure Mathematics 79), Mathematical Society of Japan の Online 版に掲載	その他 (Web 掲載)	守屋壽コレクション 松浦静山旧蔵日本全図	2月26日
58	株式会社新学社	中学1年生～3年生向け社会科 (歴史内容) 学習用の学校用副教材「2020年版『歴史資料集』」に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒町の風景	2月26日
59	安芸高田市教育委員会	安芸高田市広報紙 (平成31年度4月号) で遺跡紹介記事の参考図として掲載	写真原版 (デジタルデータ)	寺町廃寺伽藍模型 (反転)	2月28日
60	福山市文化振興課 築城400年事業推進担当課	神辺VR (バーチャルリアリティ) 制作のため	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 菅茶山肖像画	2月28日
61	勉誠出版株式会社	鹿毛敏夫著『戦国大名の海外交易』 (勉誠出版 2019) のカバーに掲載	写真原版 (デジタルデータ)	遣明船模型	3月7日
62	株式会社 KADOKAWA	村井章介著『古琉球 海洋アジアの輝ける王国』 (平成31年3月25日発売予定) に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 日本扶桑国之図	3月7日
63	株式会社広島ホームテレビ	ニュース番組の企画 (5UP内口ーカルニュース枠) に使用	その他 (画像の二次使用)	重要文化財菅茶山関係資料 菅茶山肖像画	2月25日
64	株式会社日本入試センター	中学受験を目標とする小学生対象塾内教材 (2019年度 進学教室サピックス塾内教材『デイリーサピックス小学5年社会 540-27「応仁の乱と一揆の発生」』) に挿絵として掲載	写真原版 (デジタルデータ)	草戸千軒展示室 足駄屋の食事	3月15日
65	北海道立近代美術館	五十嵐聡美「蠣崎波響・落款考」 (図版編補遺) (『北海道立美術館・芸術館紀要 第28号』所収) に掲載	写真原版 (デジタルデータ)	重要文化財菅茶山関係資料 鴨図 (『甲寅画卷』所収) など計4点	3月15日
66	NHK制作局 青少年教育番組部	教育番組「歴史にドキリ」での使用及びNHKポータルサイト・番組広報に掲載	テレビ撮影 その他 (ストーリーミング配信)	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品 宋銭の塊 中国産陶磁器 (草戸千軒展示室) 市場の風景 (草戸千軒展示室)	3月15日
67	公益財団法人東洋文庫	『ロマンフ王朝時代の日露交流』 (仮題) に掲載する原稿の執筆に当たり、画像を参考とする。	写真原版 (デジタルデータ)	守屋壽コレクション 露西亜人図	3月14日
68	日本文教出版株式会社	文部科学省検定教科用図書「中学社会歴史的分野」、及び関連出版物等へ掲載	写真原版 (デジタルデータ) その他 (再掲載)	草戸千軒町遺跡の出土品 (一括銭) 草戸千軒町遺跡 (復元された町並み) 各地から伝わったとされる「かめ」	3月23日
69	福山市	神辺VR (バーチャルリアリティ) 制作のため。	写真原版 (デジタルデータ)	広島県重要文化財菅波信道一代記 挿絵 計5点	3月26日

組織及び運営

1 平成 29 年度

(1) 職員組織図



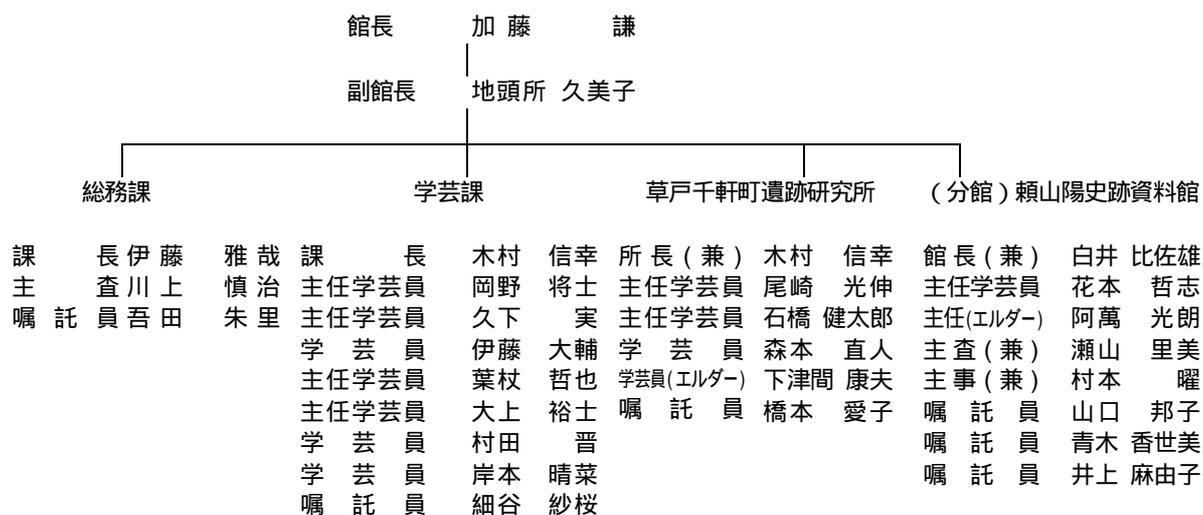
は広島県立歴史民俗資料館職員で、当館職員を兼務。

(2) 事業費・運営費

区分	内容	金額(単位 千円)
企画展等開催費	企画展，特別部門展の開催	11,433
学習支援費	博物館講座，こども博物館教室などの開催 ボランティア活動等	378
調査研究活動費	各種調査研究，テーマ研究	626
資料調査・収集・購入・作成費	資料整理，保存処理，資料作成購入等	6,062
維持運営費	博物館の維持管理運営	81,311
施設修繕	非常用発電設備更新等	5,220
合計		105,030

2 平成30年度

(1) 職員組織図



は広島県立歴史民俗資料館職員で、当館職員を兼務。

(2) 事業費・運営費

区分	内容	金額(単位 千円)
企画展等開催費	企画展, 特別部門展の開催	18,538
学習支援費	博物館講座, こども博物館教室などの開催 ボランティア活動等	361
調査研究活動費	各種調査研究, テーマ研究	530
資料調査・収集・購入・作成費	資料整理, 保存処理, 資料作成購入等	6,166
維持運営費	博物館の維持管理運営	81,269
施設修繕	非常用発電設備更新等	0
合計		106,864

関係法規

1 広島県立歴史博物館設置条例

平成元年七月七日条例第二十三号

改正

平成 六年 三月二九日条例第三号

平成 九年 三月二六日条例第三号

平成一〇年 三月二四日条例第五号

平成一三年 三月二六日条例第三号

平成一四年 三月二五日条例第一八号

平成二七年 三月一六日条例第二一号

平成二八年 三月二二日条例第七号

広島県立歴史博物館設置条例をここに公布する。

広島県立歴史博物館設置条例

(設置)

第一条 郷土の歴史に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第十八条の規定に基づき、広島県立歴史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

2 博物館に、分館として頼山陽史跡資料館(以下「分館」という。)を設置する。

一部改正〔平成二七年条例第二一号〕

(位置)

第二条 博物館(分館を除く。)の位置は、福山市西町二丁目とする。

2 分館の位置は、広島市中区袋町とする。

一部改正〔平成二七年条例第二一号〕

(業務)

第三条 博物館は、次の業務を行う。

- 一 郷土の歴史に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 前号の資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 分館の茶室(以下「施設」という。)を一般の利用に供すること。
- 四 その他博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

一部改正〔平成二七年条例第二一号〕

(職員)

第四条 博物館に、館長その他の必要な職員を置く。

2 館長は、博物館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(使用の許可)

第五条 施設を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

追加〔平成二七年条例第二一号〕

(入館料等の納付)

第六条 博物館の展示する資料を観覧する者は入館料を、施設を使用しようとする者は施設使用料を納付しなければならない。

- 2 入館料及び施設使用料(以下「入館料等」という。)の額は、別表のとおりとする。
- 3 知事は、特別の理由があると認めるときは、入館料等を減免することができる。
- 4 既納の入館料等は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、施設使用料の全部又は一部を返還することがある。

一部改正〔平成一〇年条例五号・二七年二一号〕

(遵守事項)

第七条 博物館においては、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 展示資料、展示設備等に触れないこと。
- 二 許可を受けないで、展示資料の模写又は撮影をしないこと。
- 三 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛けないこと。
- 四 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をしないこと。
- 五 その他教育委員会が定める事項

一部改正〔平成二七年条例二一号〕

(教育委員会規則への委任)

第八条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成一三年条例三号・二七年二一号〕

附 則

この条例は、公布の日から起算して五月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成元年一〇月規則第七三号で、平成元年一一月三日から施行)

附 則(平成六年三月二九日条例第三号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成六年四月一日から施行する。

附 則(平成九年三月二六日条例第三号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成九年四月一日から施行する。(後略)

附 則(平成一〇年三月二四日条例第五号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成十年四月一日から施行する。(後略)

附 則(平成一三年三月二六日条例第三号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成十三年四月一日から施行する。

附 則(平成一四年三月二五日条例第一八号)

この条例は、平成十四年四月一日から施行する。

関係法規

附 則（平成二七年三月一六日条例第二一号）

この条例は、公布の日から起算して三月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。（平成二七年四月規則第四〇号で、平成二七年五月一日から施行）

附 則（平成二八年三月二二日条例第七号）

この条例は、平成二八年四月一日から施行する。

別表（第六条関係）

一 入館料

1 通常の展示の場合

区分	利用者	個人	団体（二〇人以上の場合とする。）
博物館（分館を除く。）	大学生	一人一回 二一〇円	一人一回 一六〇円
	その他満一五歳以上の者	一人一回 二九〇円	一人一回 二二〇円
分館	大学生	一人一回 一五〇円	一人一回 一二〇円
	その他満一五歳以上の者	一人一回 二〇〇円	一人一回 一六〇円

備考 この表において「その他満一五歳以上の者」とは、中学校又は高等学校の生徒及びこれに準ずる者を除く満十五歳以上の者をいう。

2 特別の展示の場合

一人一回 一、〇三〇円以内で知事が定める額

二 施設使用料

一時間までごとに 二、〇〇〇円

全部改正〔平成二七年条例二一号〕、一部改正〔平成二八年条例第七号〕

2 広島県立歴史博物館管理運営規則

平成元年十月二十三日教育委員会規則第九号

改正

平成 元年十一月三〇日教育委員会規則第一一号

平成 四年 八月二四日教育委員会規則第一〇号

平成 六年 四月 一日教育委員会規則第七号

平成 七年 三月 六日教育委員会規則第二号

平成 七年一〇月 一日教育委員会規則第一四号

関係法規

平成 八年 四月 一日教育委員会規則第五号

平成 九年 四月 一日教育委員会規則第六号

平成一三年 三月二九日教育委員会規則第四号

平成一三年 三月二九日教育委員会規則第五号

平成一三年一〇月二二日教育委員会規則第七号

平成一四年 四月 一日教育委員会規則第一〇号

平成一九年一二月二六日教育委員会規則第一三号

平成二七年 四月三〇日教育委員会規則第九号

平成二八年 三月三一日教育委員会規則第五号

広島県立歴史博物館管理運営規則を次のように定める。

広島県立歴史博物館管理運営規則

(趣旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立歴史博物館（以下「博物館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第二条 博物館（頼山陽史跡資料館（以下「分館」という。）を除く。）の開館時間は、午前九時から午後五時までとする。

2 分館の開館時間は、午前九時三十分から午後五時までとする。

3 教育長は、必要があると認めるときは、前二項の開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日等)

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第七十八号。以下「法律」という。）に規定する休日に当たる日を除く。）

二 一月一日から同月四日まで及び十二月二十八日から同月三十一日まで

2 教育長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 教育長は、前項の規定により臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめ、公告するものとする。

(施設の使用の申込み等)

第四条 分館の茶室（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、施設使用申込書を教育長に提出し、広島県立歴史博物館設置条例（平成元年広島県条例第二十三号。以下「条例」という。）第五条の許可（以下「使用許可」という。）を受けなければならない。

2 施設の使用の申込みは、使用期日の六月前から使用当日までの間にしなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認める場合は、この限りでない。

(施設使用許可書の交付等)

第五条 教育長は、施設の使用許可をしたときは、施設使用許可書をその者に交付する。

- 2 前項の施設使用許可書は、施設を使用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(入館券の購入等)

第六条 博物館の展示する資料等を観覧しようとする者は、入館前に、入館券を購入しなければならない。

- 2 施設使用料は、施設の使用の許可を受ける際に納付しなければならない。
- 3 第一項の規定により入館券を購入した者は、博物館に入館する際には、入館券を係員に提示しなければならない。
- 4 入館券は、これを返還して現金の還付を受け、又は紛失その他の理由によっても再交付を受けることができない。
- 5 著しく汚染し、又は損傷した入館券は、無効とする。

(施設使用料の返還)

第七条 条例第六条第四項ただし書の規定により、教育長は、使用許可を受けた者がその責めに帰すことができない理由により使用することができない場合は、当該施設使用料の全額を返還する。

- 2 前項の規定により施設使用料の返還を受けようとする者は、施設使用料返還申請書に第五条第一項の施設使用許可書を添えて、教育長に提出しなければならない。

(入館料の免除)

第八条 次の各号のいずれかに該当する場合は、通常の展示に係る入館料を免除する。

- 一 身体障害者手帳の交付を受けている者
- 二 戦傷病者手帳の交付を受けている者
- 三 療育手帳の交付を受けている者
- 四 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
- 五 満六十五歳以上の者
- 六 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生
- 七 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校、高等学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校若しくは当該高等学校の生徒若しくはこれらに準ずる者の引率者
- 八 特別の展示と併せて通常の展示を観覧する者

- 2 次の各号のいずれかに該当する場合は、広島県教育委員会が行う展示に係る入館料を免除する。

- 一 法律第二条に規定するこどもの日における小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
- 二 法律第二条に規定する文化の日における入館者
- 三 ひろしま教育の日を定める条例(平成十三年広島県条例第四十号)第三条に規定するひろしま教育ウィークにおける小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者

- 3 前二項のほか、教育長が特別の理由があると認めるときは、入館料を減免することができる。
- 4 第一項第一号から第七号までのいずれかに該当し、入館料の免除を受けようとする者は、該当することを証する書類を提示しなければならない。

(施設使用料の免除)

第九条 次の要件に該当する場合は、施設使用料を免除する。

関係法規

一 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校、高等学校若しくはこれらに準ずる学校の校長（幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長）が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校若しくは当該高等学校の生徒若しくはこれらに準ずる者が利用するとき。

二 県が共催する事業を行うために使用するとき。

2 前項のほか、教育長が特別の理由があると認めるときは、施設使用料を減免することができる。

（遵守事項）

第十条 博物館においては、条例第七条第一号から第四号までに掲げる事項のほか、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

一 展示資料、展示設備等をき損し、又は汚損しないこと。

二 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物を携行しないこと。

三 その他係員の指示に従うこと。

（禁止行為）

第十一条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育長の許可を受けた場合は、この限りでない。

一 行商その他これに類する行為

二 寄附の募集

三 宣伝その他これに類する行為

四 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

（入館の制限等）

第十二条 教育長は、前二条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、博物館への入館を拒否し、又は博物館からの退去を命ずることができる。

（損害の責任）

第十三条 博物館の展示資料又は施設若しくは設備をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

（補則）

第十四条 この教育委員会規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

（施行期日）

1 この教育委員会規則は、平成元年十一月三日から施行する。

（広島県教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正）

2 広島県教育委員会事務局の組織に関する規則（昭和六十一年広島県教育委員会規則第三号）の一部を次のように改正する。

第七条文化課の項中第十三号を第十四号とし、第十二号を第十三号とし、第十一号を第十二号とし、第十号の次に次の一号を加える。

十一 広島県立歴史博物館に関すること。

附 則（平成元年十一月三〇日教育委員会規則第一一〇号抄）

（施行期日）

- 1 この教育委員会規則は、平成元年十二月一日から施行する。

附 則（平成四年八月二四日教育委員会規則第一〇号）

この教育委員会規則は、平成四年九月一日から施行する。

附 則（平成六年四月一日教育委員会規則第七号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成七年三月六日教育委員会規則第二号）

この教育委員会規則は、平成七年四月一日から施行する。

附 則（平成七年一〇月一日教育委員会規則第一四号）

（施行期日）

- 1 この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この教育委員会規則の施行の際現に障害の状態に関する証明書の交付を受けている者については、改正後の規定にかかわらず、当該証明書の有効期間に限り、なお従前のとおり取り扱うものとする。

附 則（平成八年四月一日教育委員会規則第五号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成九年四月一日教育委員会規則第六号）

この教育委員会規則は、平成九年四月一日から施行する。

附 則（平成一三年三月二九日教育委員会規則第四号）

この教育委員会規則は、平成十三年四月一日から施行する。

附 則（平成一三年三月二九日教育委員会規則第五号）

この教育委員会規則は、平成十三年四月一日から施行する。

附 則（平成一三年一〇月二二日教育委員会規則第七号）

この教育委員会規則は、平成十三年十一月一日から施行する。

附 則（平成一四年四月一日教育委員会規則第一〇号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成一九年一二月二六日教育委員会規則第一三号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成二七年四月三〇日教育委員会規則第九号）

この教育委員会規則は、広島県立歴史博物館設置条例の一部を改正する条例（平成二十七年広島県条例第二十一号）の施行の日から施行する。

附 則（平成二八年三月三十一日教育委員会規則第五号）

この教育委員会規則は、平成二十八年四月一日から施行する。

3 広島県教育委員会組織規則（抜粋）

平成九年四月一日教育委員会規則第四号

第四章 学校以外の教育機関

第八節 歴史博物館

（名称及び位置）

第四十七条 広島県立歴史博物館設置条例（平成元年広島県条例第二十三号）第一条の規定により設置された広島県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の名称及び位置は次のとおりである。

名称	位置
広島県立歴史博物館	福山市西町二丁目

（業務）

第四十八条 歴史博物館は、次に掲げる業務を行う。

- 一 郷土の歴史に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 前号の資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 その他博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

（内部組織）

第四十九条 歴史博物館に次の課等を置く。

総務課

学芸課

草戸千軒町遺跡研究所

頼山陽史跡資料館

（各課等の分掌事務）

第五十条 歴史博物館の各課等の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- 一 公印の管理に関すること。
- 二 文書及び物件の收受、発送及び整理保存に関すること。
- 三 館員の人事、給与、服務及び福祉厚生に関すること。
- 四 令達予算の執行に関すること。
- 五 施設及び設備の管理保全に関すること。
- 六 前各号のほか、館内の連絡調整及び他課等の所掌に属しない館務に関すること。

学芸課

- 一 郷土の歴史（中世を除く。）に関する実物、標本、模写、模型、文献、写真、フィルム等の博物館資料（以下「中世以外の博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 中世以外の博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 中世以外の博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。

関係法規

- 四 中世以外の博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- 五 中世以外の博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

草戸千軒町遺跡研究所

- 一 郷土の歴史（中世に限る。）に関する実物、標本、模写、模型、文献、写真、フィルム等の博物館資料（以下「中世博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 中世博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 中世博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 中世博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- 五 中世博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

頼山陽史跡資料館

- 一 頼山陽に関する実物、標本、模写、模型、文献、写真、フィルム等の博物館資料（以下「頼山陽に関する博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 頼山陽に関する博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 頼山陽に関する博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 頼山陽に関する博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- 五 頼山陽に関する博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

第九節 削除

第五十一条から第五十八条まで 削除

第十節 削除

第五十九条から第六十二条まで 削除

第五章 附属機関

（附属機関）

第六十三条 法令又は条例の定めるところにより設置された附属機関の名称、目的及びその主管課は、次のとおりとする。

主管課	名称	目的
文化財課	広島県博物館協議会	広島県立美術館，広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し，教育委員会の諮問に応じるとともに，教育委員会に対して意見を述べること。

附 則（平成三十一年三月二二日教育委員会規則第四号）

この教育委員会規則は、平成三十一年四月一日から施行する。

4 広島県博物館協議会条例

平成十三年三月二十六日条例第三号

広島県博物館協議会条例をここに公布する。

広島県博物館協議会条例

（設置）

第一条 広島県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に、広島県博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館及び広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

（組織）

第二条 協議会は、委員十五人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

（委員の任期）

第三条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

第四条 協議会に会長及び副会長各一人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第五条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第六条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

（雑則）

第七条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成十三年四月一日から施行する。

関係法規

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

- 2 広島県立美術館協議会条例(昭和四十三年広島県条例第三十八号)は、廃止する。

(広島県立歴史博物館設置条例の一部改正)

- 3 広島県立歴史博物館設置条例(平成元年広島県条例第二十三号)の一部を次のように改正する。

第七条を削り、第八条を第七条とする。

広島県立歴史博物館年報 第 29・30 号

平成 29 年度
平成 30 年度

発行日

令和 2 年 3 月 31 日

編集・発行

広島県立歴史博物館

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目 4 - 1

TEL.084-931-2513 FAX.084-931-2514

ホームページアドレス

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>

E メールアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp